

第3次総合計画に関する市民アンケート
調査報告書
(1次集計結果)

令和2年12月

糸魚川市

1 調査概要

(1) 調査の設計

- ① 調査地域：糸魚川市全域
- ② 調査対象：糸魚川市在住の18歳以上の男女
- ③ 抽出方法：令和2年10月1日現在の住民基本台帳から地域ごとに年齢階層別、男女別の抽出率が等しくなるよう無作為に抽出した（地域ごとの抽出数は人口比で案分した。）。
- ④ 調査方法：調査票の配付・回収とも郵送による自記式アンケート
- ⑤ 調査期間：令和2年10月12日(月)～10月30日(金)

(2) 調査の項目

①回答者の属性

- ・性別
- ・年齢（令和2年10月1日現在）
- ・配偶者の有無
- ・18歳以下の子どもとの同居
- ・居住地
- ・職業
- ・出身地

②設問分野

- 問1 糸魚川市のイメージ
- 問2 糸魚川市の住みやすさ
- 問3 糸魚川市に住み続けたいか否か
- 問4 ジオパークについての認知の程度
- 問5 住宅地整備についての考え
- 問6 特に推進してほしい施策
- 問7 分野別の現状満足度・今後の重要度
 - 健康福祉分野
 - 教育分野
 - 生活基盤分野
 - 産業分野
 - 生活環境分野
 - 地域づくり・自治分野
- 問8 移住・定住者を増やすための施策
- 問9 行政サービスと市民の負担のあり方
- 問10 行政サービス効率化に向けた意見・評価（自由記述）
- 問11 行政と市民の役割分担についての考え方
- 問12 人口減少に対する施策（自由記述）
- 問13 まちづくりについての意見・提案（自由記述）

※なお、自由記述については未掲載

(3) 回収結果

発送数	3,000 件
回収数	1,366 件
回収率	45.5 %

(4) 注意事項

①調査結果の数値は、原則として「%」で表した。%値の分母は原則として、その質問に対する回答者数であり、図表では、「n」と表示している。図表に「n」の表示がない場合は、複数回答にて回答者数と総計が一致しないものである。

②本報告書では、マイナス値についての標記に「-」を用いている。

③%値は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも100%ではない場合(99.9%または100.1%など)がある。また、「0.0」は±0.05未満の数値を示している。

また、複数項目においては分母を全体値とし、平均スコアにおいて未回答は計算に含めず分母からも除外した。

④図の一部において、構成比の少ない項目はその値を省略している場合がある。

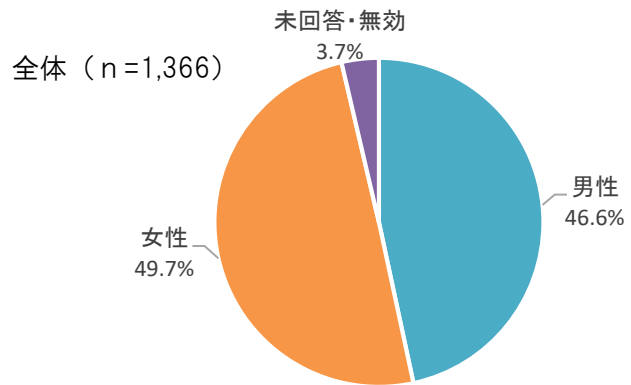
(5) 前回調査との比較

①調査地域	糸魚川市全域
②調査対象	糸魚川市在住の15歳以上の男女(平成27年4月1日現在)
③発送数	3,000人
④調査方法	今回同様
⑤調査期間	平成27年9月10日(木)～9月30日(水)
⑥有効回答数	1,412件
⑦有効回答率	47.1%

2 回答者属性

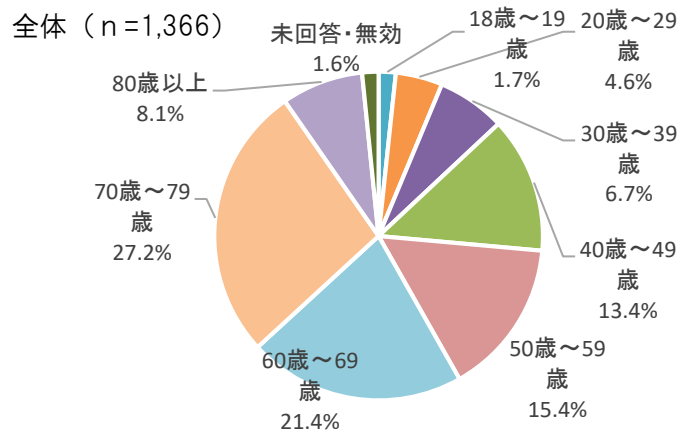
1 性別

		度数	%
1	男性	637	46.6%
2	女性	679	49.7%
3	未回答・無効	50	3.7%
合計		1366	100%



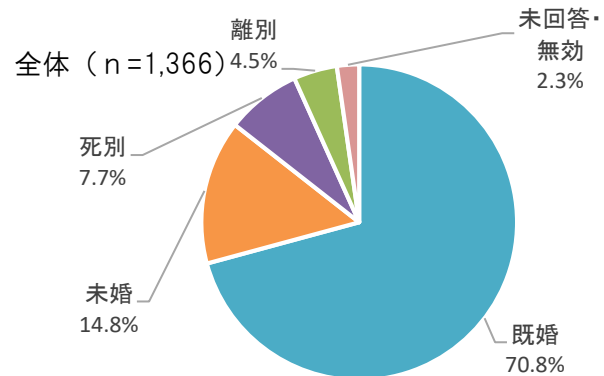
2 年齢

		度数	%
1	18歳～19歳	23	1.7%
2	20歳～29歳	63	4.6%
3	30歳～39歳	92	6.7%
4	40歳～49歳	183	13.4%
5	50歳～59歳	210	15.4%
6	60歳～69歳	292	21.4%
7	70歳～79歳	371	27.2%
8	80歳以上	110	8.1%
9	未回答・無効	22	1.6%
合計		1366	100%



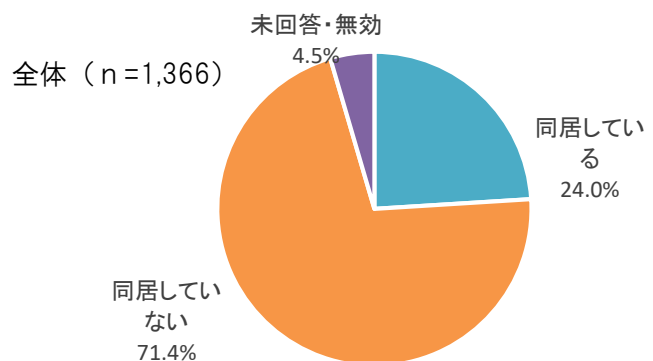
3 配偶者の有無

		度数	%
1	既婚	967	70.8%
2	未婚	202	14.8%
3	死別	105	7.7%
4	離別	61	4.5%
5	未回答・無効	31	2.3%
合計		1366	100%



4 18歳以下の子どもとの同居

		度数	%
1	同居している	328	24.0%
2	同居していない	976	71.4%
3	未回答・無効	62	4.5%
合計		1366	100%

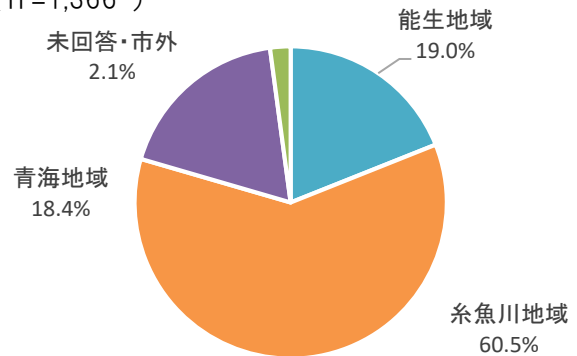


5 居住地

全体

	度数	%
1 能生地域	259	19.0%
2 糸魚川地域	827	60.5%
3 青海地域	251	18.4%
4 未回答・市外	29	2.1%
合計	1366	100%

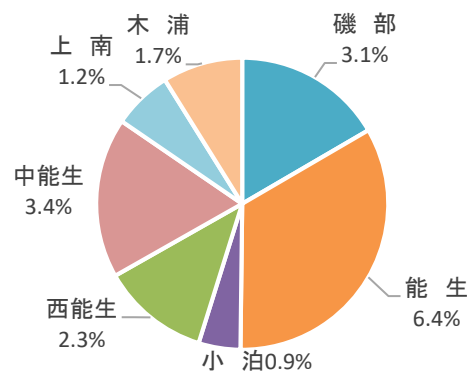
全体 (n=1,366)



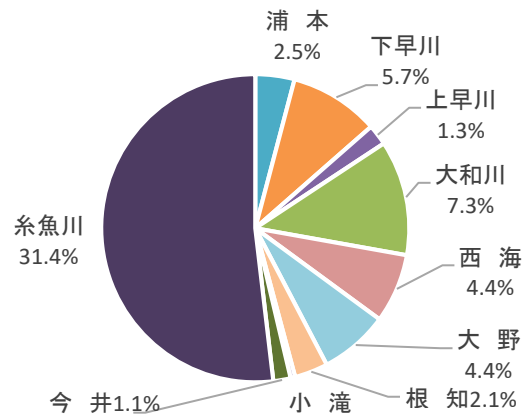
地域別

	度数	%
能生地域	259	19.0%
1 磯部	43	3.1%
2 能生	87	6.4%
3 小泊	12	0.9%
4 西能生	31	2.3%
5 中能生	46	3.4%
6 上南	17	1.2%
7 木浦	23	1.7%
糸魚川地域	827	60.5%
1 浦本	34	2.5%
2 下早川	78	5.7%
3 上早川	18	1.3%
4 大和川	100	7.3%
5 西海	60	4.4%
6 大野	60	4.4%
7 根知	29	2.1%
8 小滝	4	0.3%
9 今井	15	1.1%
10 糸魚川	429	31.4%
青海地域	251	18.4%
1 田沢	152	11.1%
2 青海	72	5.3%
3 歌外波	11	0.8%
4 市振	16	1.2%
不明	29	2.1%
合計	1366	100%

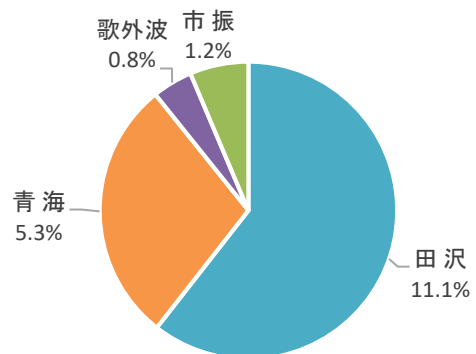
能生地域
<n=259>



糸魚川地域
<n=827>



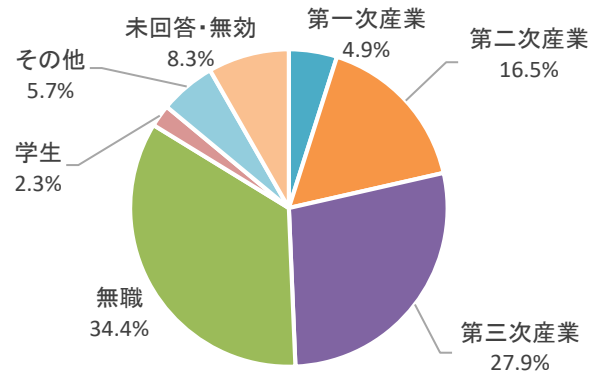
青海地域
<n=251>



6 職業

		度数	%
1	第一次産業	67	4.9%
2	第二次産業	226	16.5%
3	第三次産業	381	27.9%
4	無職	470	34.4%
5	学生	31	2.3%
6	その他	78	5.7%
7	未回答・無効	113	8.3%
合計		1366	100%

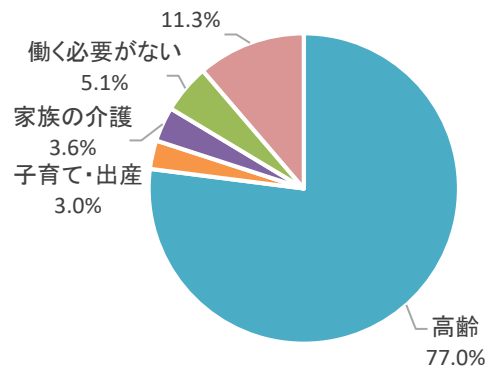
< n=1,366 >



「4 無職」内訳

		度数	%
(1)	高齢	362	26.5%
(2)	子育て・出産	14	1.0%
(3)	家族の介護	17	1.2%
(4)	働く必要がない	24	1.8%
(5)	その他	53	3.9%
合計		470	34%

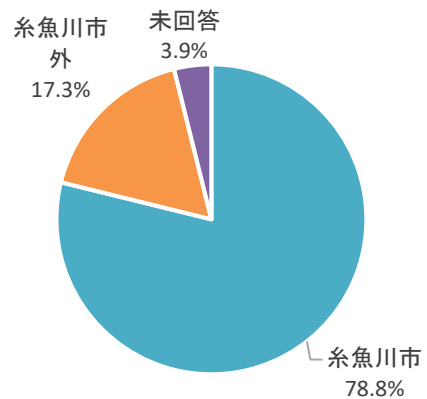
< n=470 >



7 出身地

		度数	%
1	糸魚川市	1077	78.8%
2	糸魚川市外	236	17.3%
3	未回答	53	3.9%
合計		1366	100%

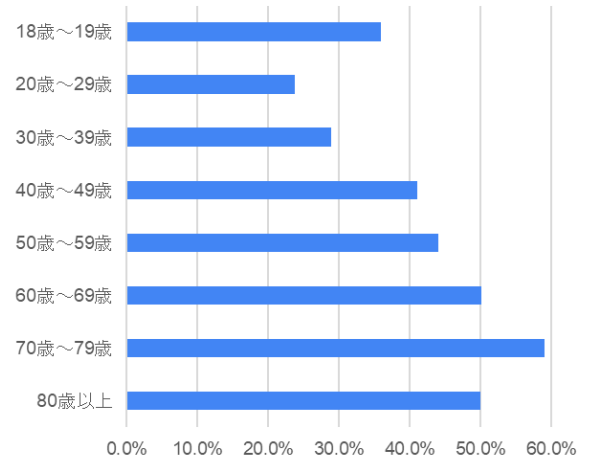
< n=1,366 >



参考

年齢別回答率

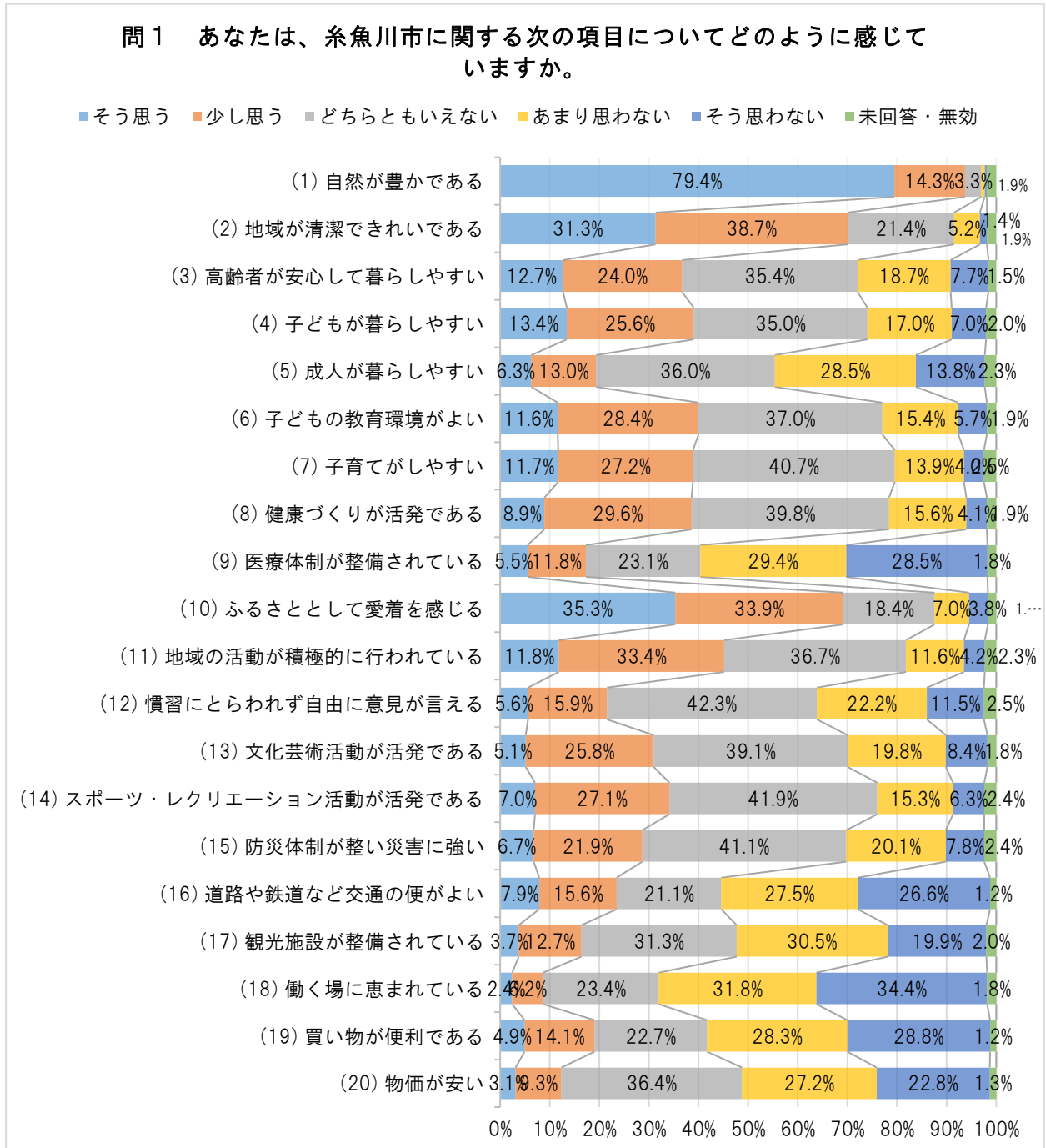
		発送数	回答数	回答率
1	18歳～19歳	64	23	35.9%
2	20歳～29歳	265	63	23.8%
3	30歳～39歳	318	92	28.9%
4	40歳～49歳	446	183	41.0%
5	50歳～59歳	477	210	44.0%
6	60歳～69歳	582	292	50.2%
7	70歳～79歳	628	371	59.1%
8	80歳以上	220	110	50.0%
9	未回答・無効		22	
合計		3000	1366	45.5%



3 調査結果

◆調査結果

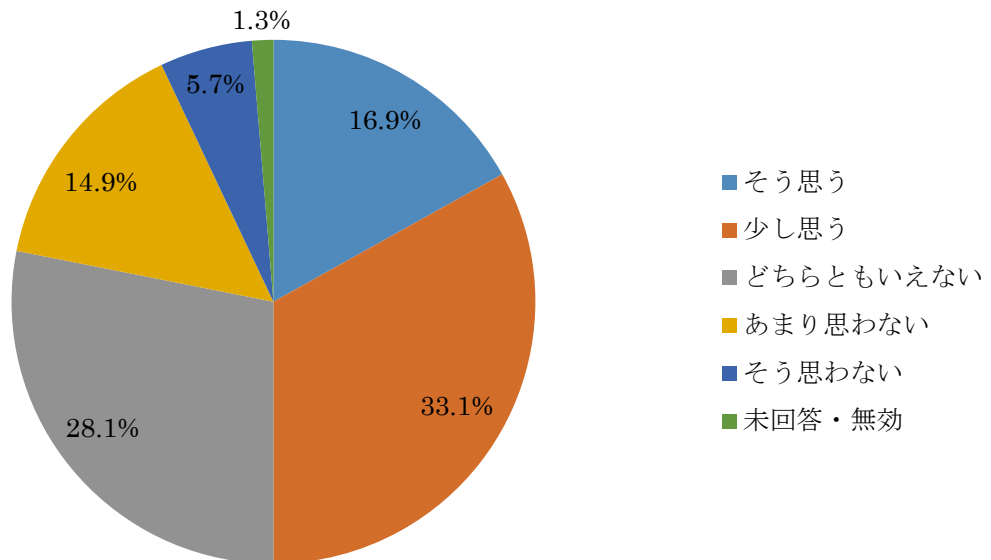
1 糸魚川市のイメージ



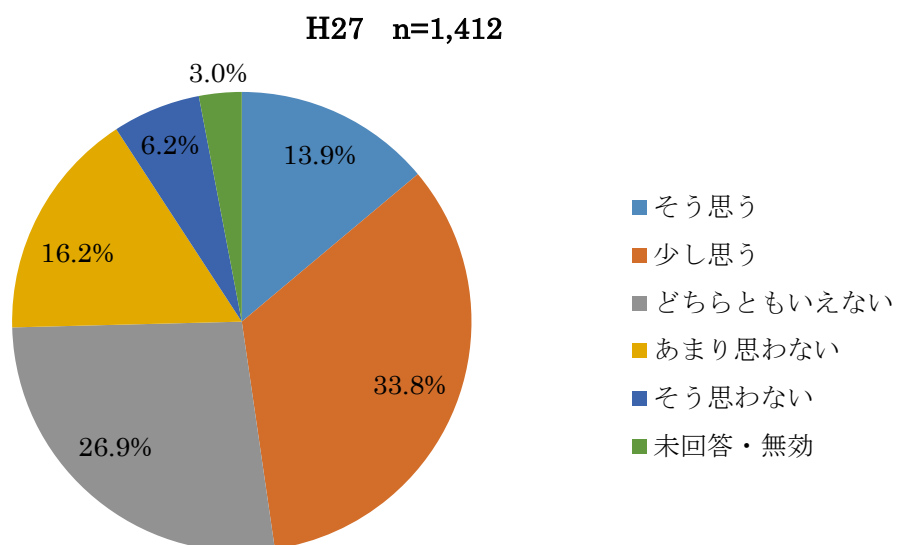
- 「(1)自然が豊かである」、「(10)ふるさととして愛着を感じる」、「(2)地域が清潔できれいである」について「そう思う」、「少し思う」と回答した人の割合が高かった。
- 「(18)働く場に恵まれている」、「(9)医療体制が整備されている」、「(19)買い物が便利である」、「(20)物価が安い」について「そう思わない」、「あまり思わない」と回答した人の割合が5割を超え、高くなっている。
- それ以外の項目については、「そう思う」と「少し思う」と回答した人と、「あまり思わない」、「そう思わない」と回答した人の割合が、それぞれ30%ほどであった。

2 糸魚川市の住みやすさ

問2 糸魚川市は住みやすいまちだと思いますか。

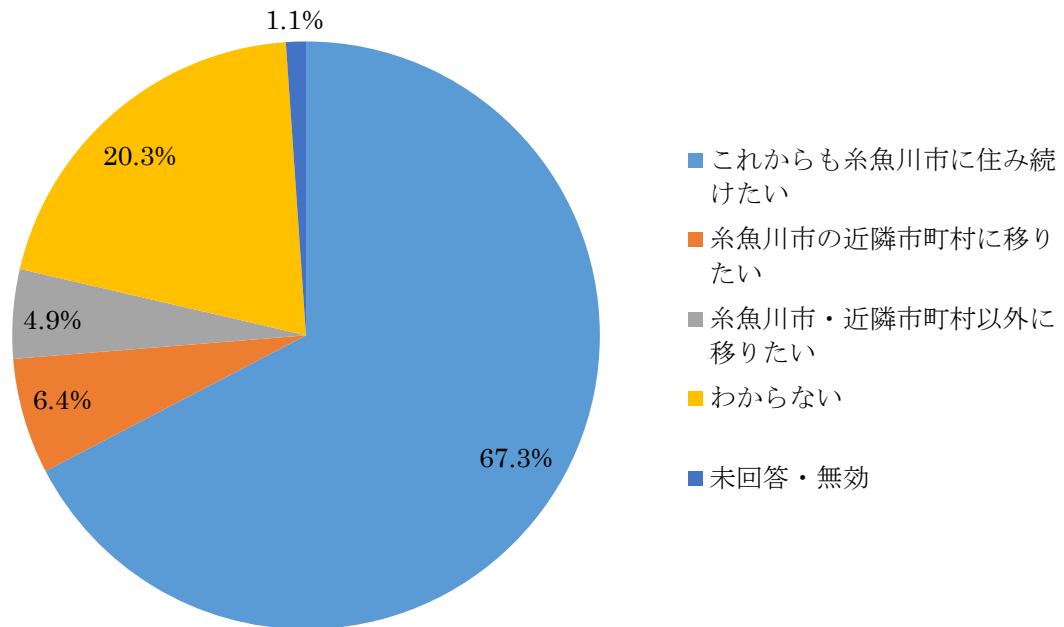


- 「そう思う」と「少し思う」と回答した人を合わせて、約 50%の人が住みやすいと回答した。
- 「そう思わない」と「あまり思わない」と回答した人は、合わせて約 20%であった。

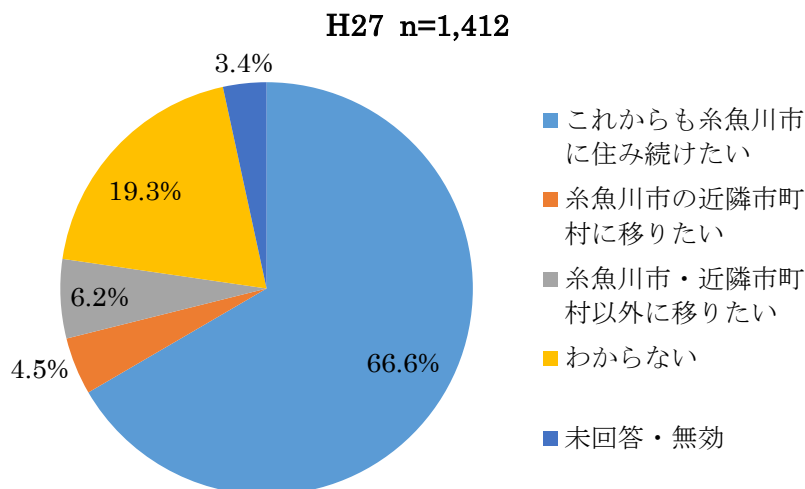


3 糸魚川市に住み続けたいか否か

問3 これからも糸魚川市に住み続けたいと思いますか。

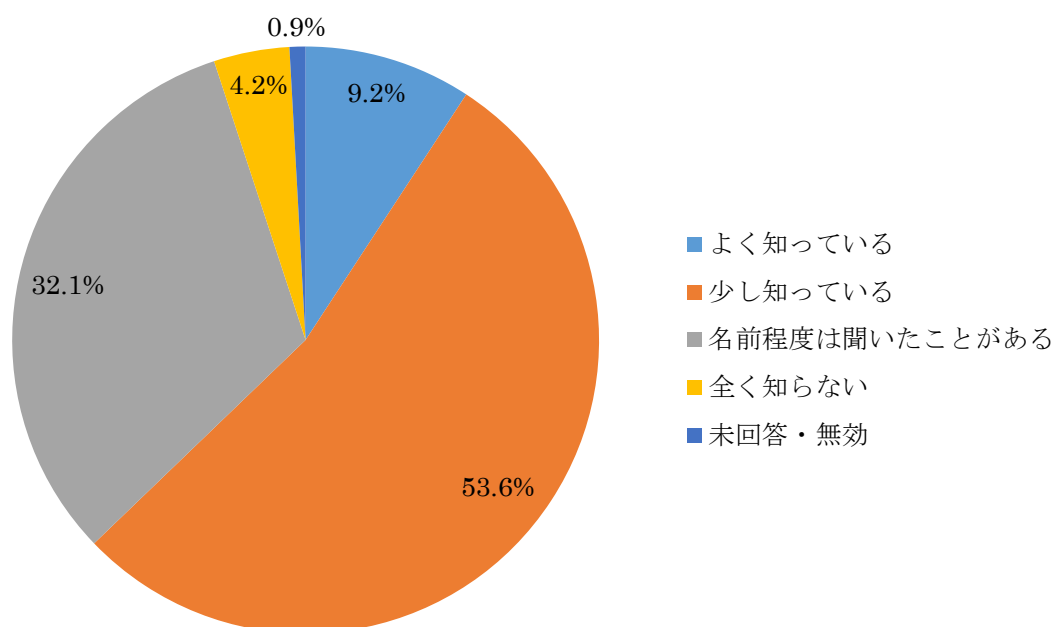


- 「これからも糸魚川市に住み続けたい」と回答した人の割合は約 67%であった。
- 「近隣市町村に移りたい」、「近隣市町村以外に移りたい」と回答した人の割合は、合わせて約 11%であった。
- 「わからない」と回答した人の割合が約 20%となっており、住み続けるか移住するかが明確になっていない人も一定の割合でいた。

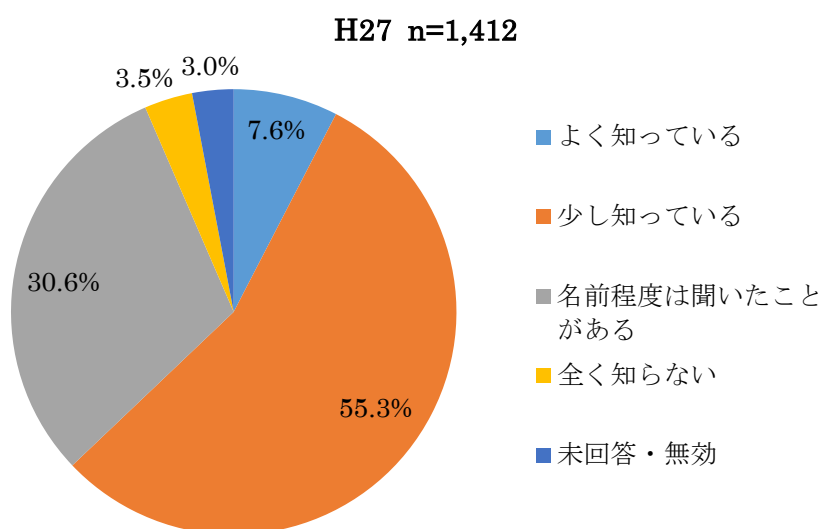


4 ジオパークについての認知の程度

問4 ジオパークについて、どの程度知っていますか。

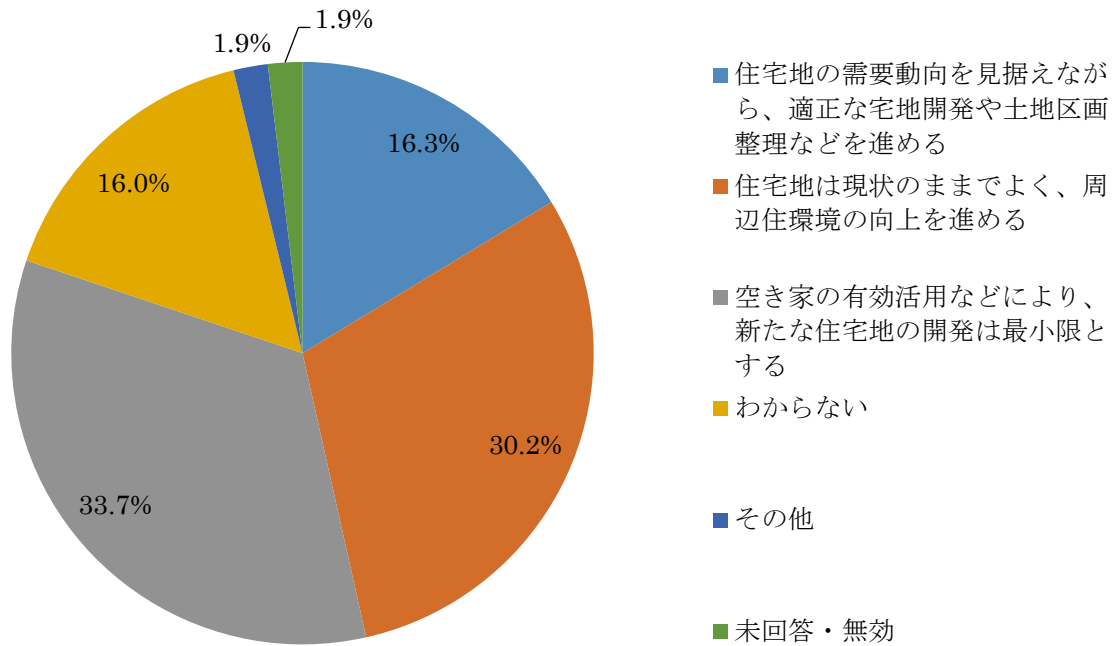


- 「よく知っている」、「少し知っている」と回答した人の割合は、合わせて約 63%であった。
- 「名前程度は聞いたことがある」、「全く知らない」と回答した人の割合は、合わせて 36%であった。



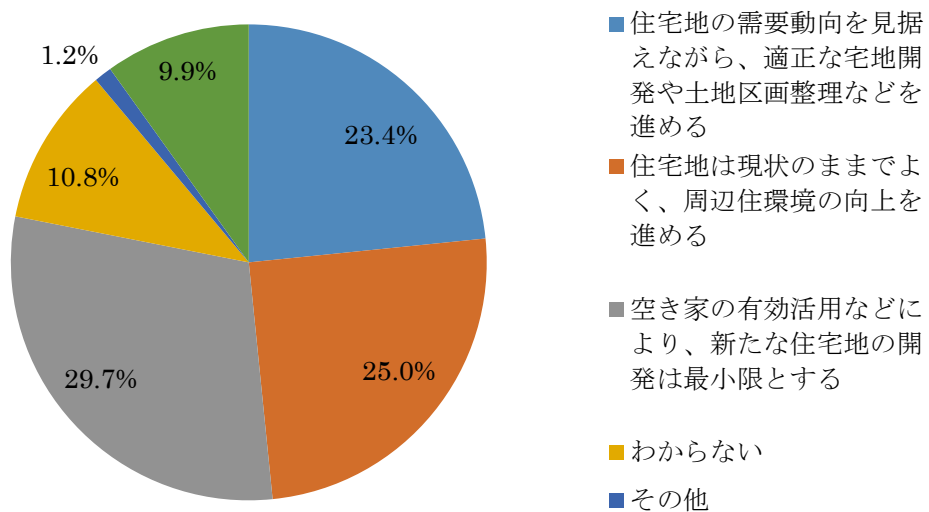
5 住宅地整備についての考え

問5 これからの住宅地整備についてどう思いますか。



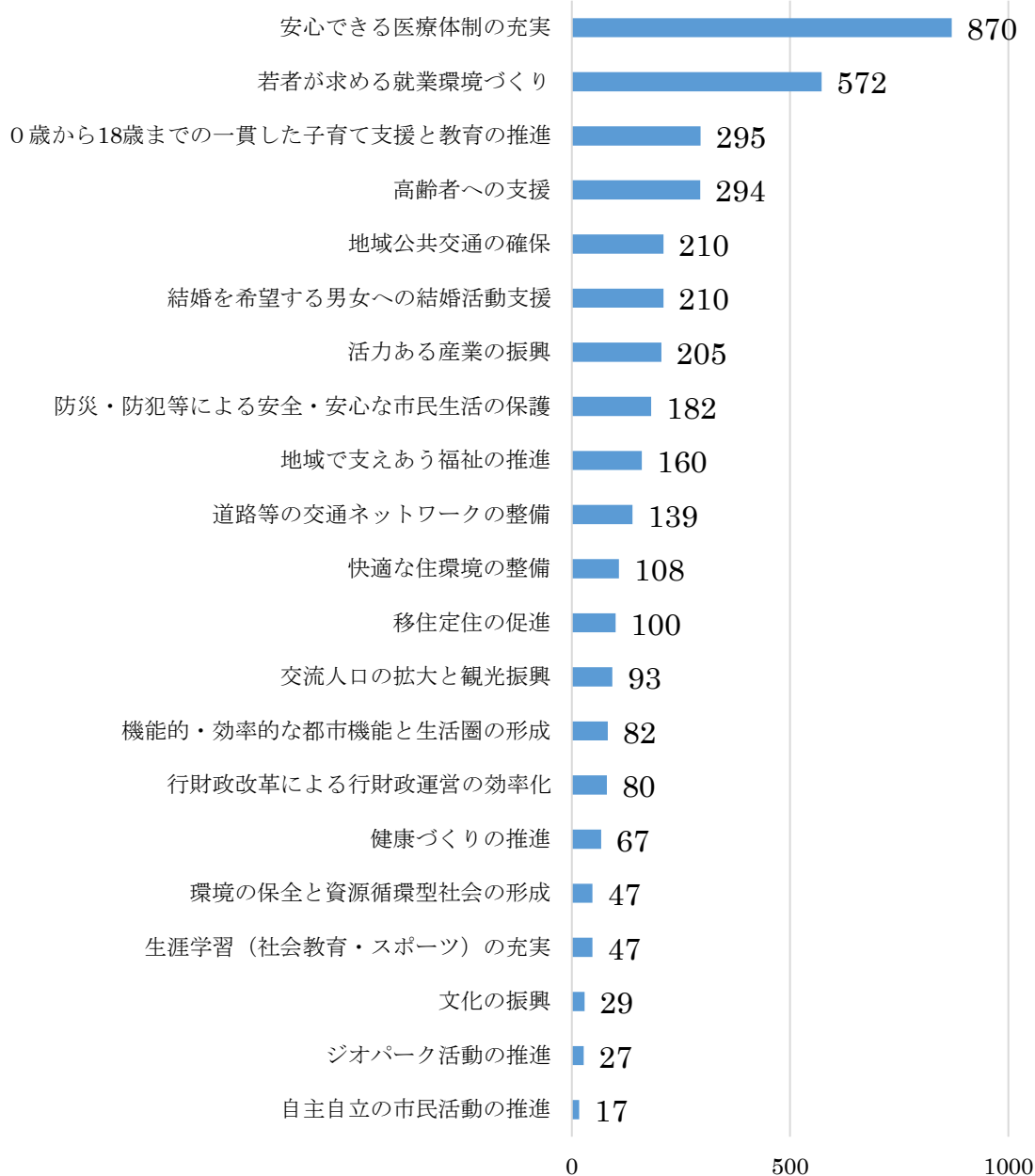
- 「適正な宅地開発や土地区画整理を進める」と回答した人の割合は、約 16%であった。
- 「住宅地は現状のままでよく、周辺住環境の向上を進める」と回答した人の割合は、約 30%であった。
- 「空き家の有効活用などにより、新たな住宅地の開発は最小限とする」と回答した人の割合は、約 34%であった。

H27 n=1,412



6 特に推進してほしい施策

問6 市に特に推進してほしいと思う取組は何ですか。あてはまるものを3つまで選んでください。

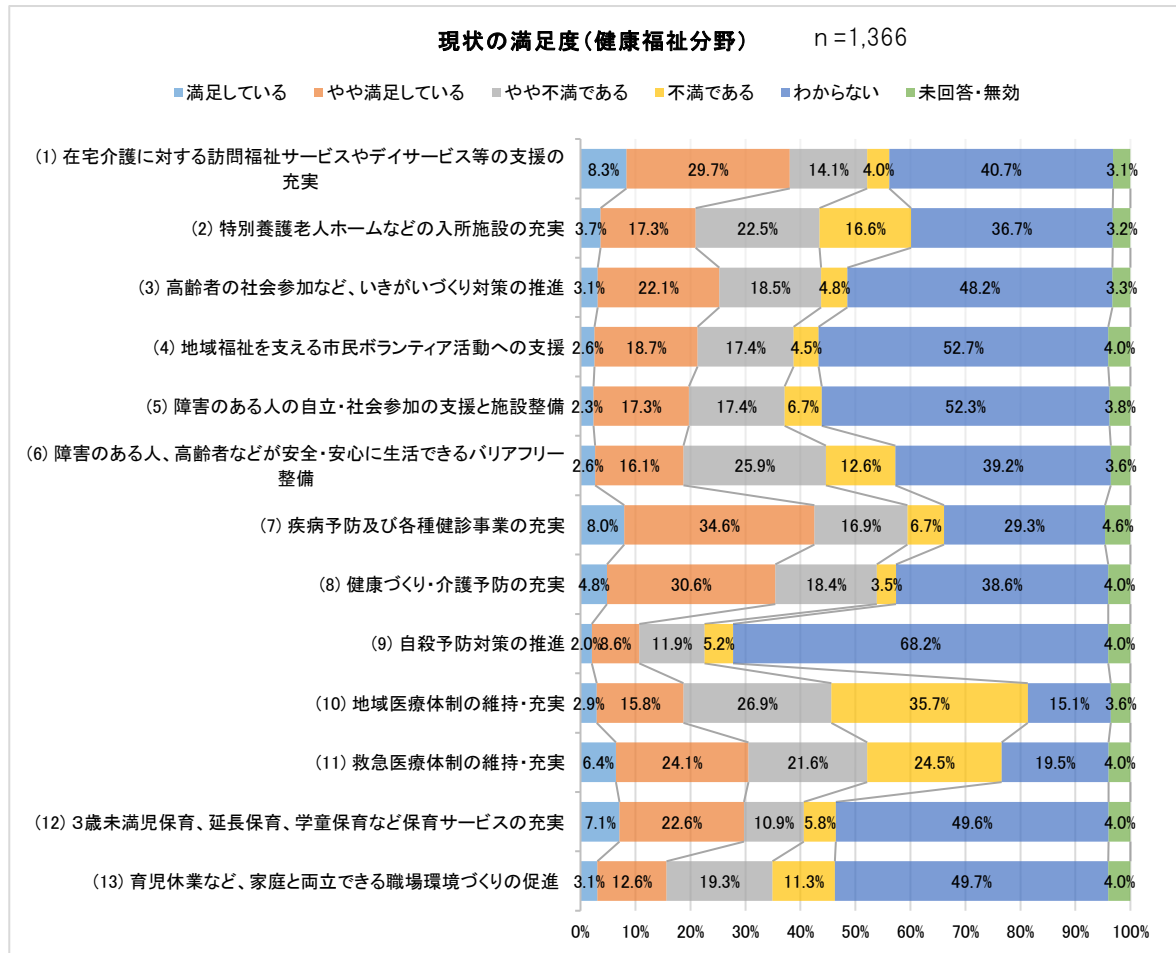


- 回答が多い順に整理した。
- 回答者数 1,366 人のうち、「安心できる医療体制の充実」が最も多く 870 人が特に推進してほしいと回答した。次いで、「若者が求める就業環境づくり」が 572 人、「0歳から18歳までの一貫した子育て支援と教育の推進」が 295 人、「高齢者への支援」が 294 人であった。

7 分野別の現状満足度・今後の重要度

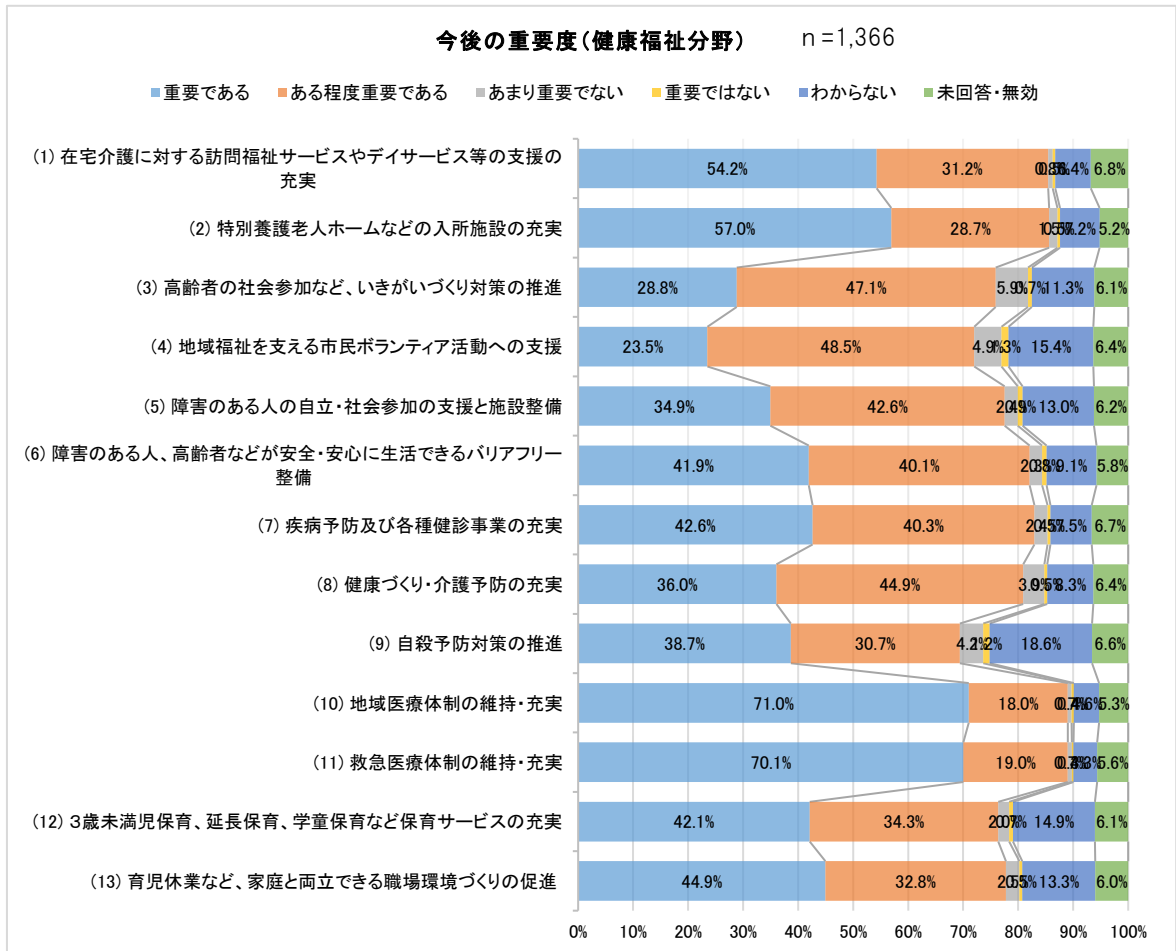
(1) 健康福祉分野

①現状の満足度



- 多くの項目で「わからない」の割合が高かった。
- 『(7)疾病予防及び各種健診事業の充実』は、「満足している」、「やや満足している」が合わせて40%を超え、満足している人の割合が高かった。
- 一方で、『(10)地域医療体制の維持・充実』は、「不満である」、「やや不満である」が合わせて60%を超え、不満を持っている人の割合が高かった。
- 不満を持つ人が多い項目は、(10)に次いで、『(11)救急医療体制の維持・充実』、『(2)特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』であった。

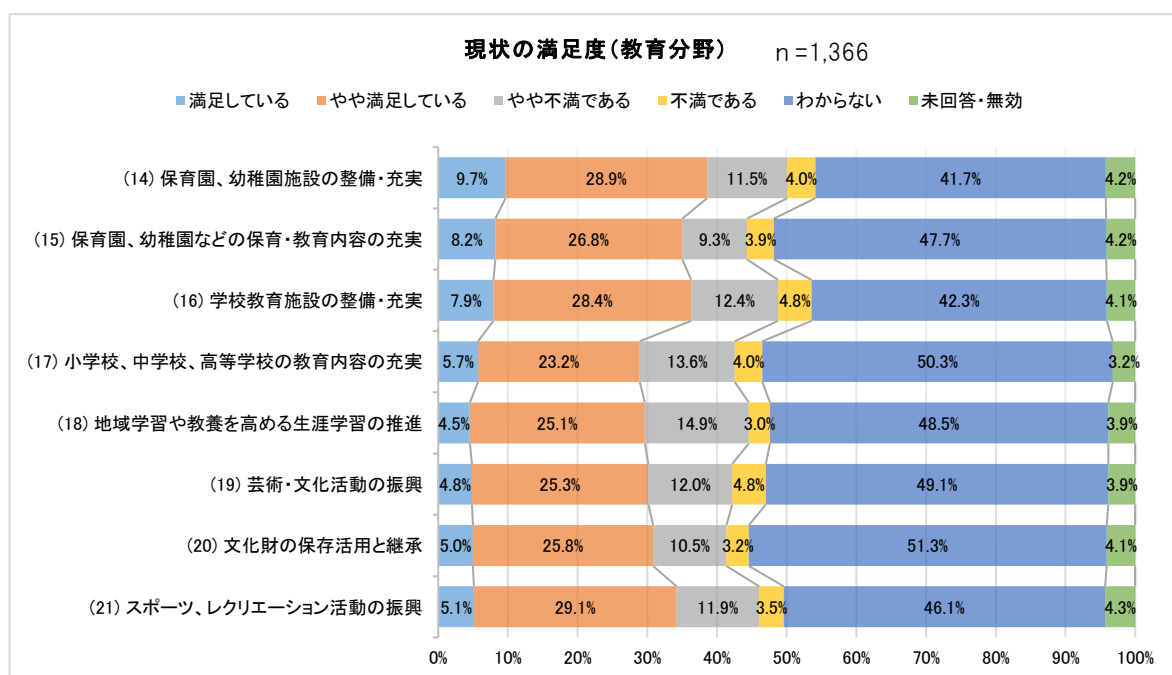
②今後の重要度



- ほとんどの項目で、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が70%を超え、いずれも重要であると考えられていることがうかがわれた。
- とくに『(10)地域医療体制の維持・充実』と『(11)救急医療体制の維持・充実』は、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が約90%に上り、施策が注目されている。
- そのほか『(1)在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実』や『(2)特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』も、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が80%を超えた。

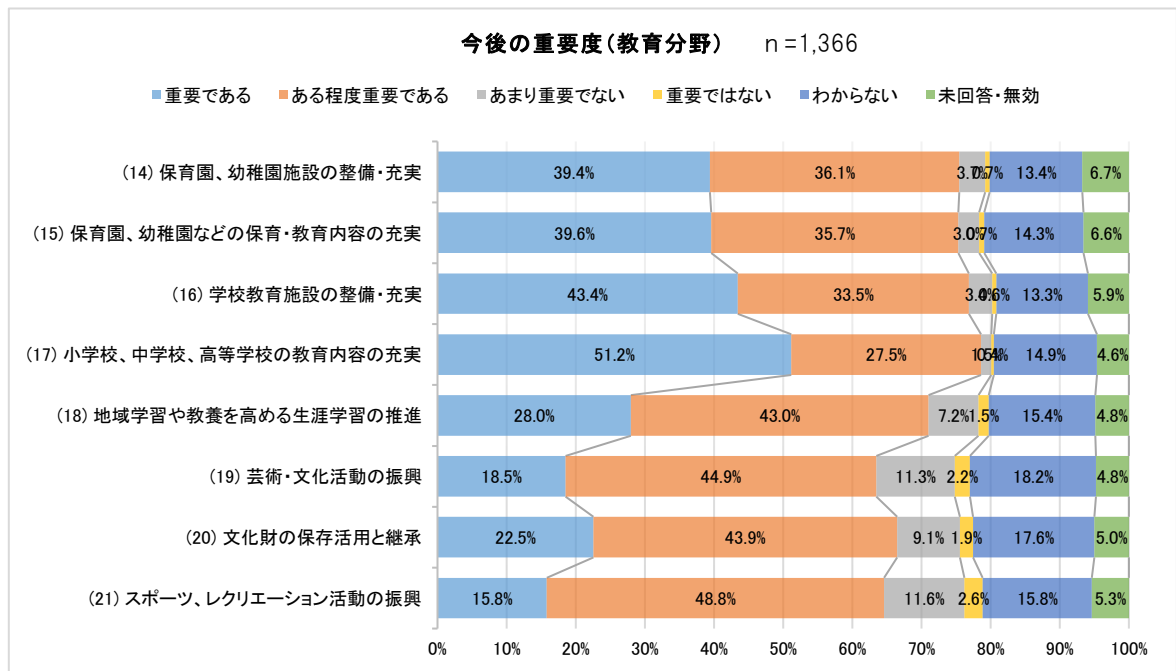
(2) 教育分野

①現状の満足度



- ほとんどの項目について、「わからない」と回答した人の割合が40～50%となっており、子ども・孫と同居していないなど、教育と関わりのない回答者が多いことがうかがわれた。
- ほとんどの項目について、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が合わせておよそ30～40%いた。一方で、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合は合わせて15～20%ほどであった。

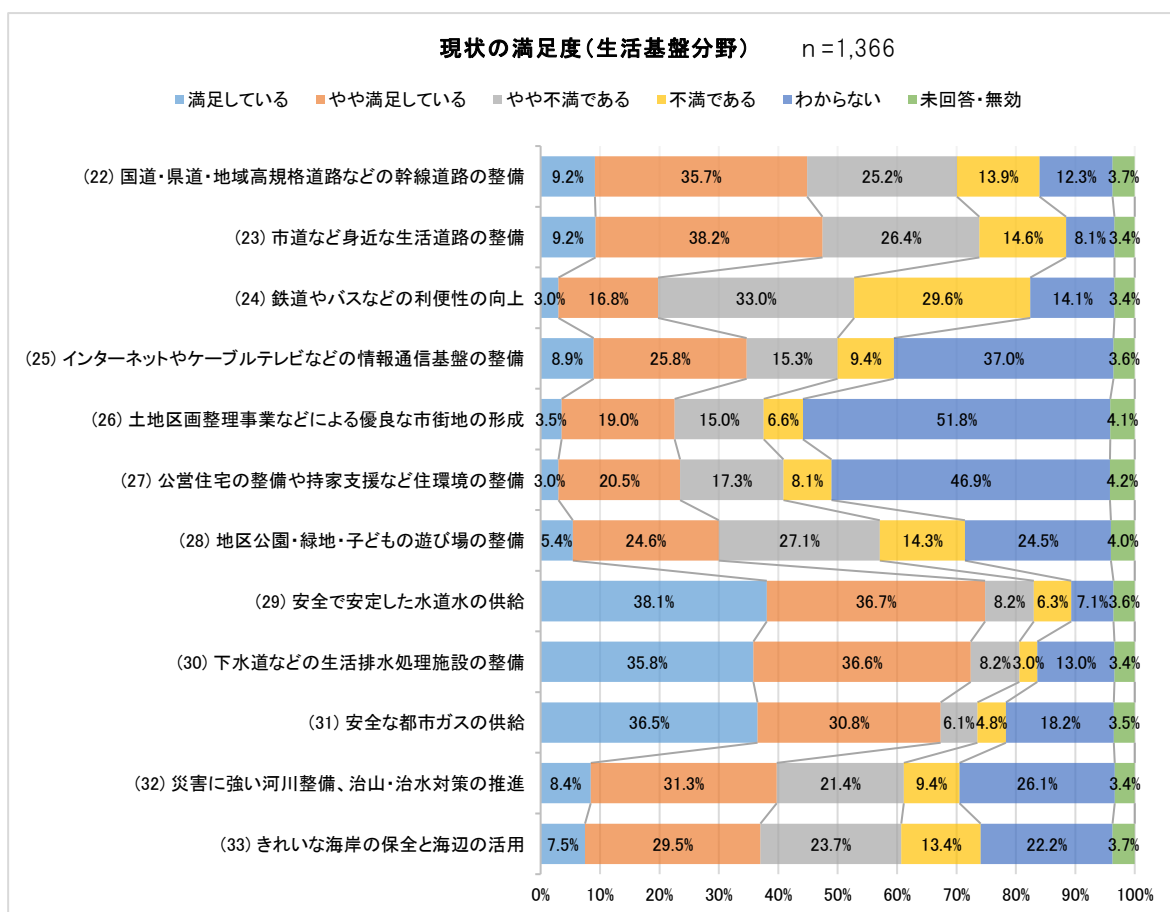
②今後の重要度



- ほとんどの項目で、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合がおよそ65～80%であった。
- その中で、『(17)小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』について「重要である」と回答した人の割合が51.2%であり、重要であると考えている人が最も多かった。
- 『(14)保育園、幼稚園施設の整備・充実』、『(15)保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実』、『(16)学校教育施設の整備・充実』、『(17)小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』については、「重要ではない」または「あまり重要でない」と回答した人の割合が合わせておよそ5%以下であり、重要ではないと考える人はほとんどいなかった。

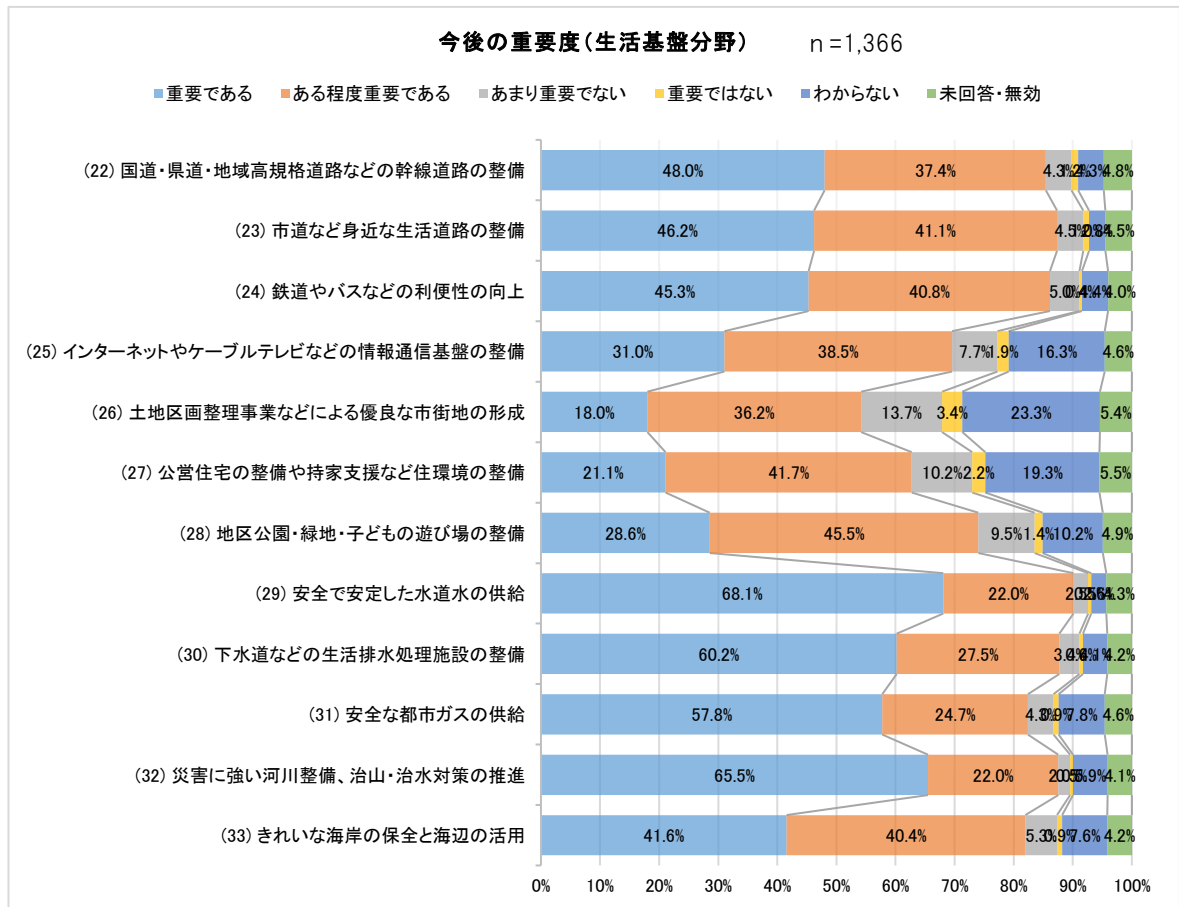
(3) 生活基盤分野

①現状の満足度



- 『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおおよそ 63%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(29)安全で安定した水道水の供給』、『(30)下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(31)安全な都市ガスの供給』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおおよそ 65~75%と高く、満足している人が多かった。

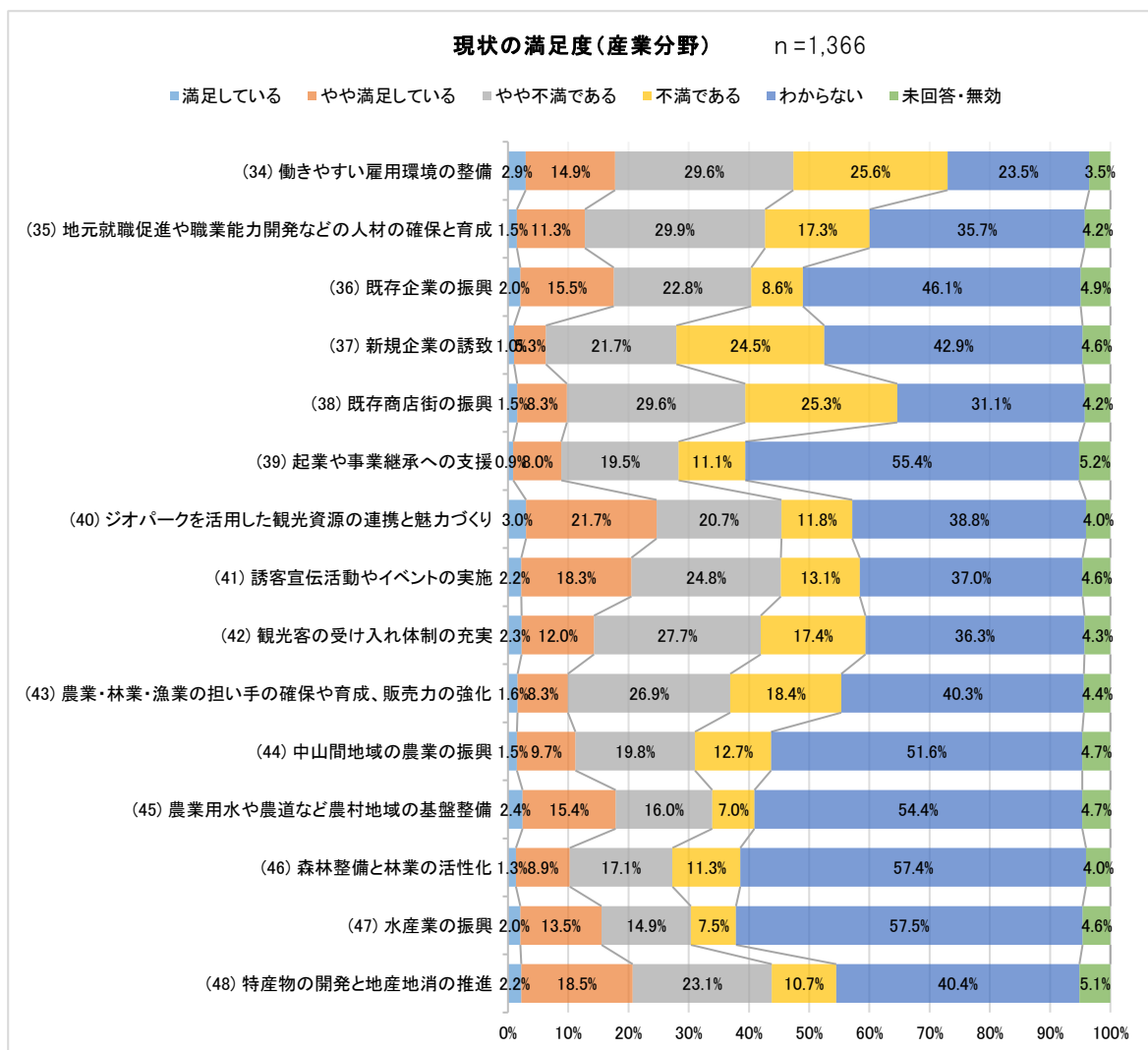
②今後の重要度



- 『(29)安全で安定した水道水の供給』、『(32)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』、『(30)下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(31)安全な都市ガスの供給』については、「重要である」と回答した人の割合がおよそ58～68%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- そのほか、『(23)市道など身近な生活道路の整備』、『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』、『(22)国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備』、『(33)きれいな海岸の保全と海辺の活用』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせておよそ80%と高く、重要であると考えた人が多かった。

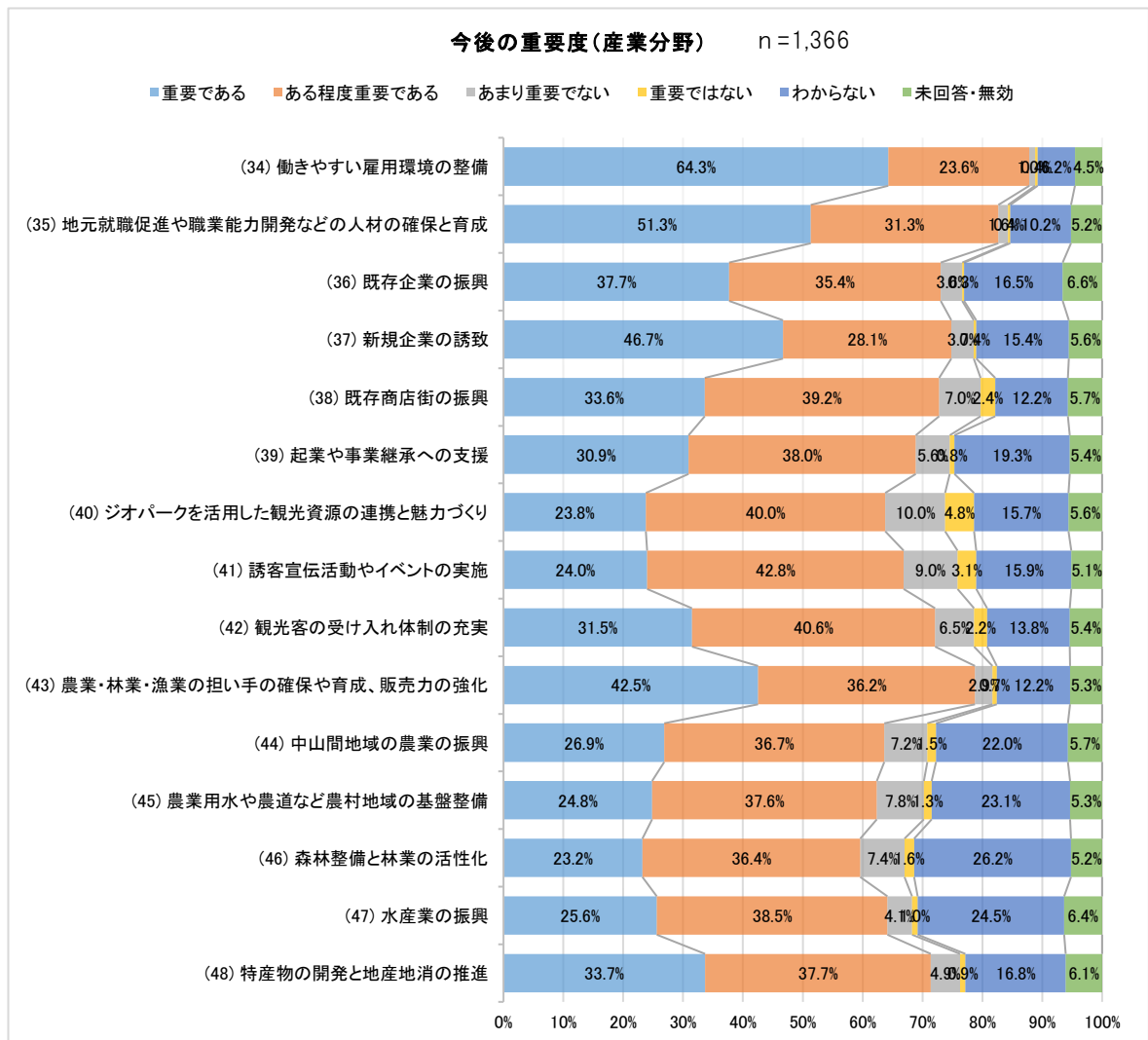
(4) 産業分野

①現状の満足度



- 多くの項目について、「わからない」と回答した人の割合がおよそ40～60%と高かった。
- 『(34)働きやすい雇用環境の整備』、『(38)既存商店街の振興』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合が50%を超え、不満を持っている人が多かった。

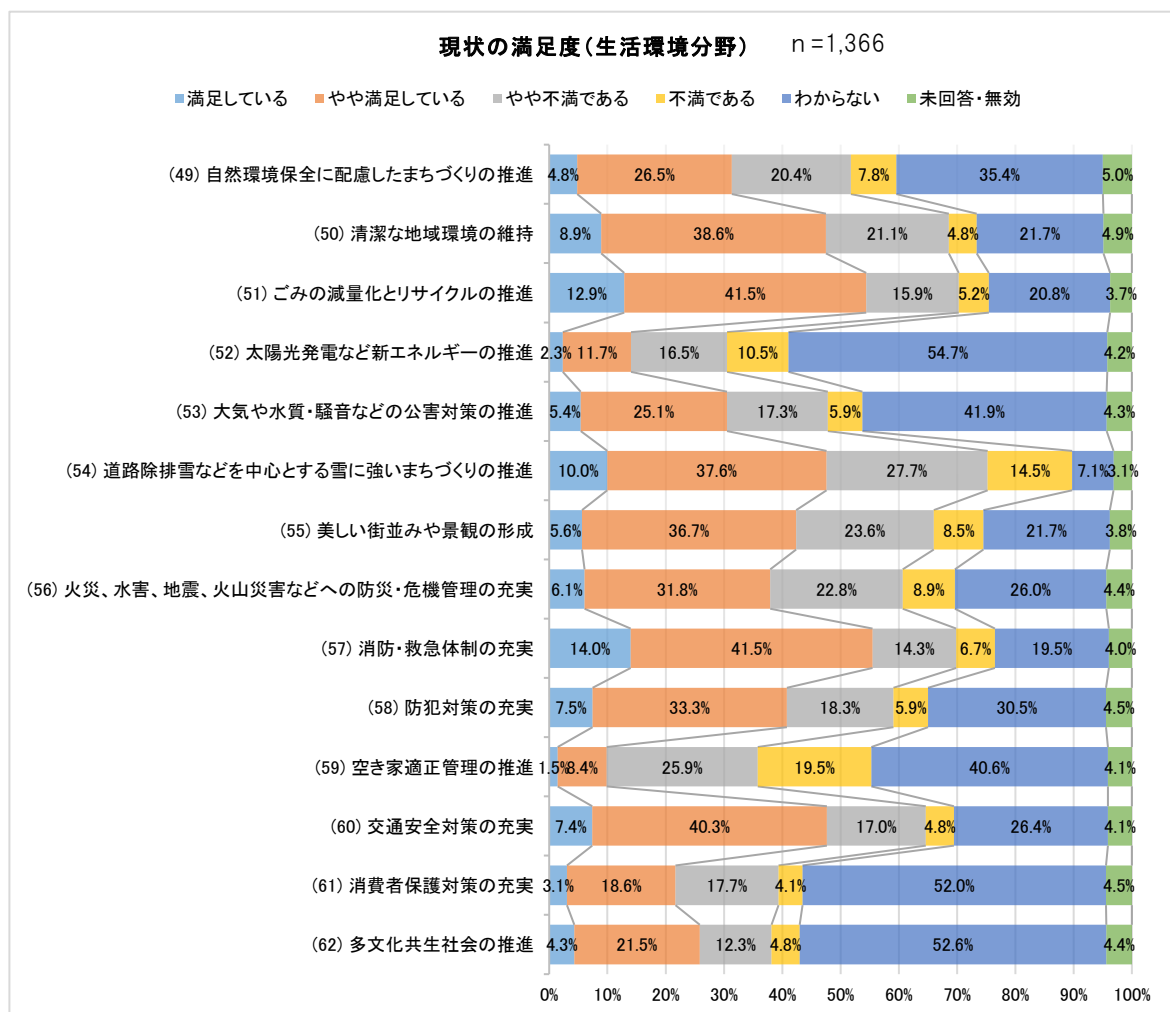
②今後の重要度



- 『(34)働きやすい雇用環境の整備』については、「重要である」と回答した人の割合が64.3%と高く、重要であると考える人が多かった。
- また、『(35)地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』、『(43)農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせて75%を超え、重要であると考える人が多かった。

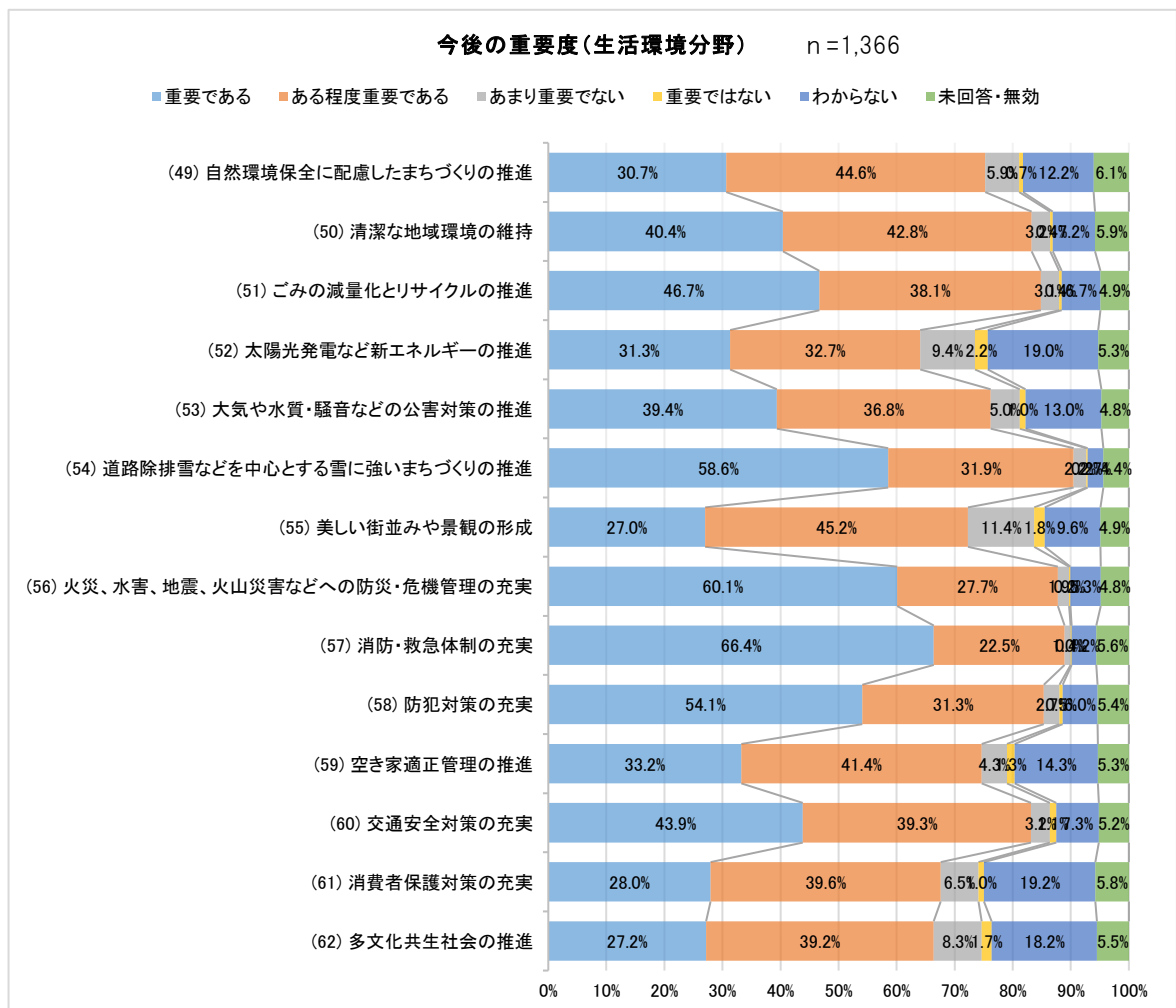
(5) 生活環境分野

①現状の満足度



- 『(59)空き家適正管理の推進』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合が合わせておよそ 45%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(57)消防・救急体制の充実』、『(51)ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(50)清潔な地域環境の維持』、『(60)交通安全対策の充実』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合が合わせておよそ 48~55%と高く、満足している人が比較的多かった。
- 『(52)太陽光発電など新エネルギーの推進』、『(62)多文化共生社会の推進』、『(61)消費者保護対策の充実』については、「わからない」と回答した人の割合が50%を超えた。

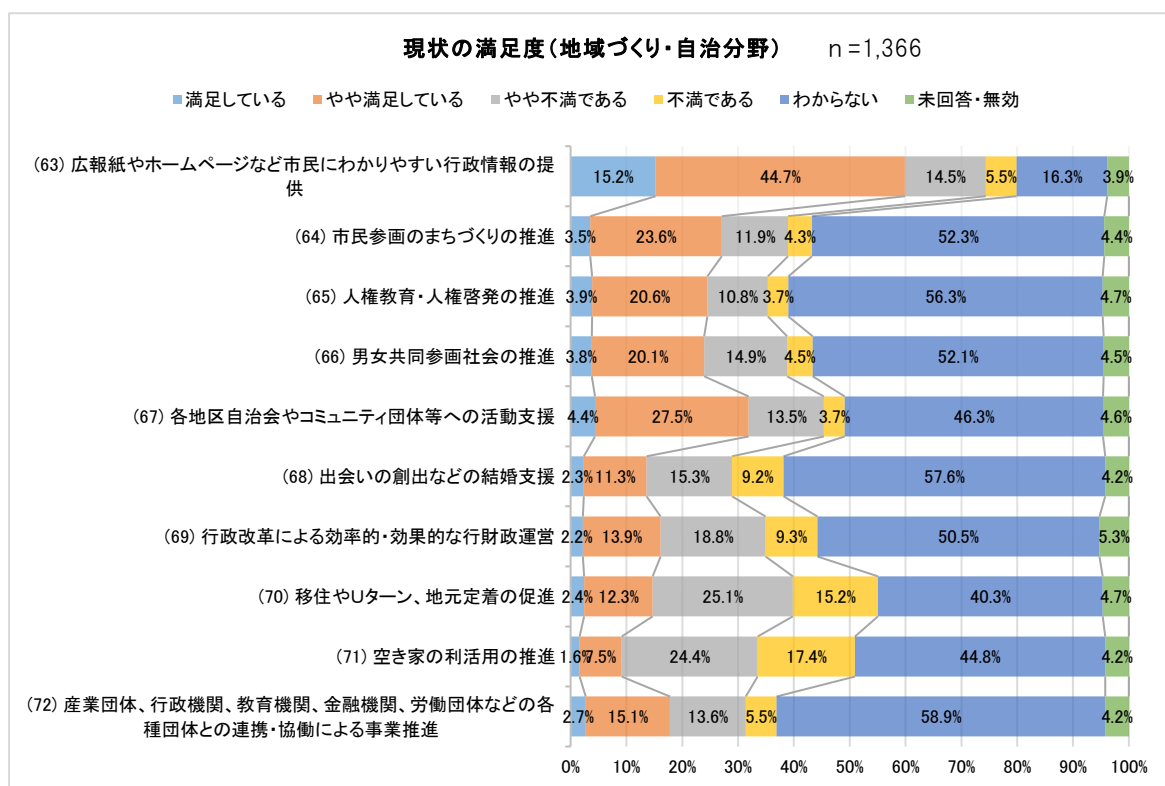
②今後の重要度



- 『(57) 消防・救急体制の充実』、『(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実』、『(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(58) 防犯対策の充実』については、「重要である」と回答した人の割合がおよそ54～66%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- そのほか、『(51) ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(60) 交通安全対策の充実』、『(50) 清潔な地域環境の維持』についても、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合があわせて80%を超え、重要であると考えた人が多かった。

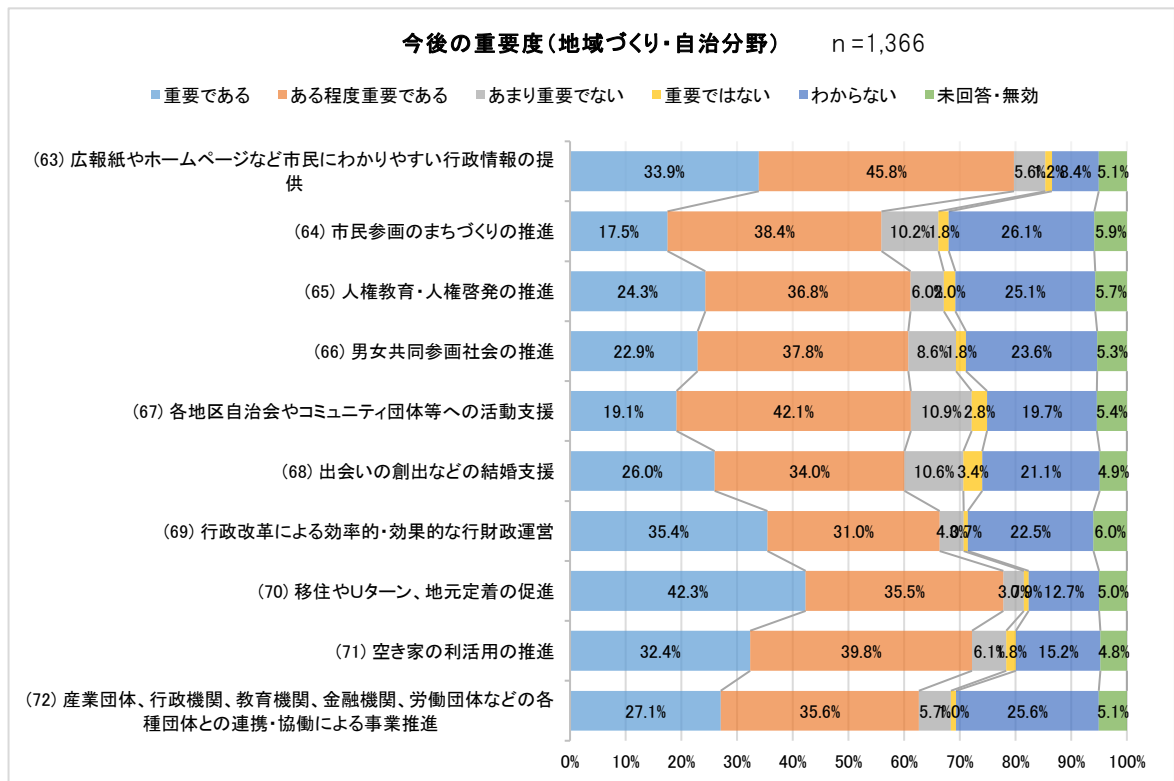
(6) 地域づくり・自治分野

①現状の満足度



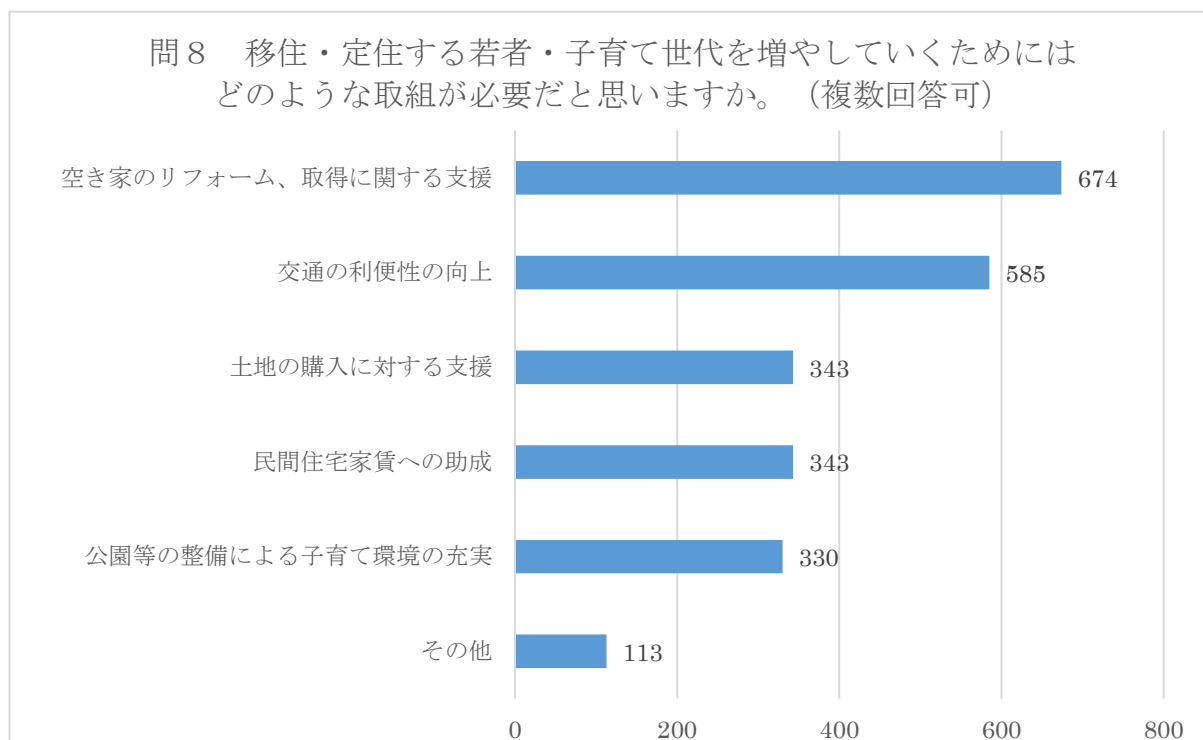
- 多くの項目について、「わからない」と回答した人の割合がおよそ40～58%であり、施策が浸透していないことがうかがわれた。
- 『(71)空き家の利活用の推進』、『(70)移住やUターン、地元定着の促進』については、「不満である」または「やや不満である」と回答した人の割合がおよそ40%と高く、不満を持っている人が多かった。
- 『(63)広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』については、「満足している」または「やや満足している」と回答した人の割合がおよそ60%と高く、満足している人が多かった。

②今後の重要度



- 『(70)移住やUターン、地元定着の促進』、『(63)広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』については、「重要である」または「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせておよそ80%と高く、重要であると考えた人が多かった。
- そのほか、『(71)空き家の利活用の推進』、『(69)行政改革による効率的・効果的な行財政運営』についても、「重要である」、「ある程度重要である」と回答した人の割合が合わせておよそ66~73%と高く、重要であると考えた人が多かった。

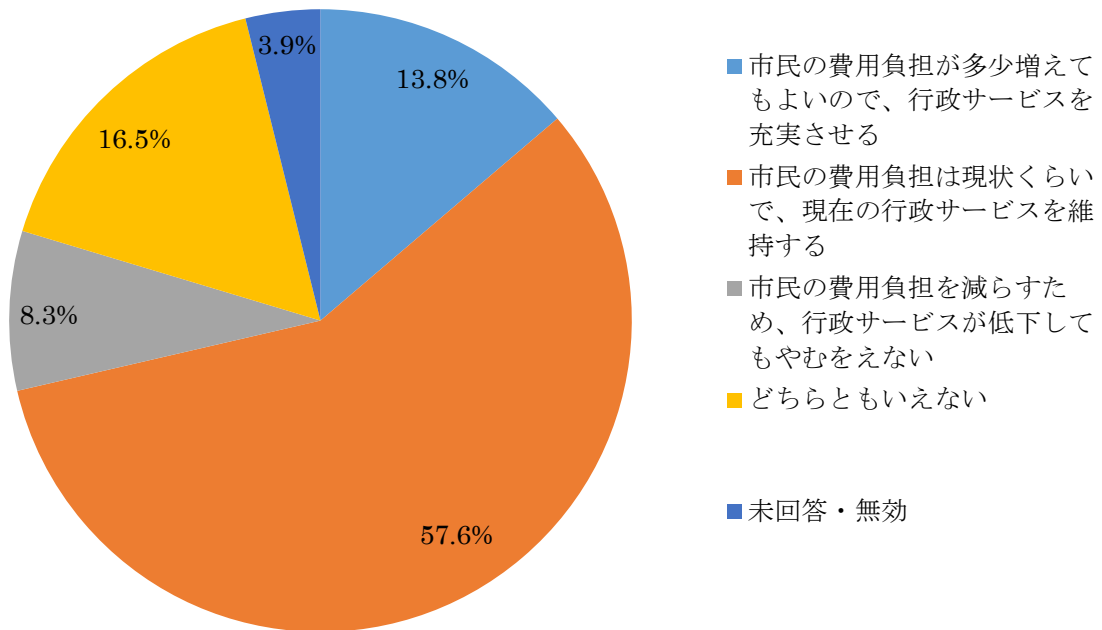
8 移住・定住者を増やすための施策



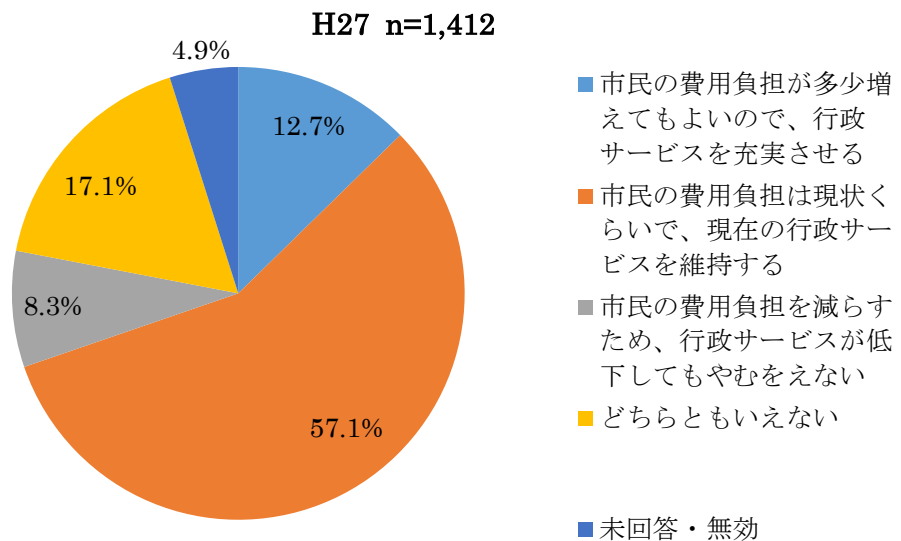
- 回答が多い順に整理した。
- 回答者数 1,366 人のうち、「空き家のリフォーム、取得に関する支援」が最も多く半数近い 674 人が取組が必要だと回答した。次いで、「交通の利便性の向上」が 585 人であった。

9 行政サービスと市民の負担のあり方

問9 行政サービスと市民の負担のあり方

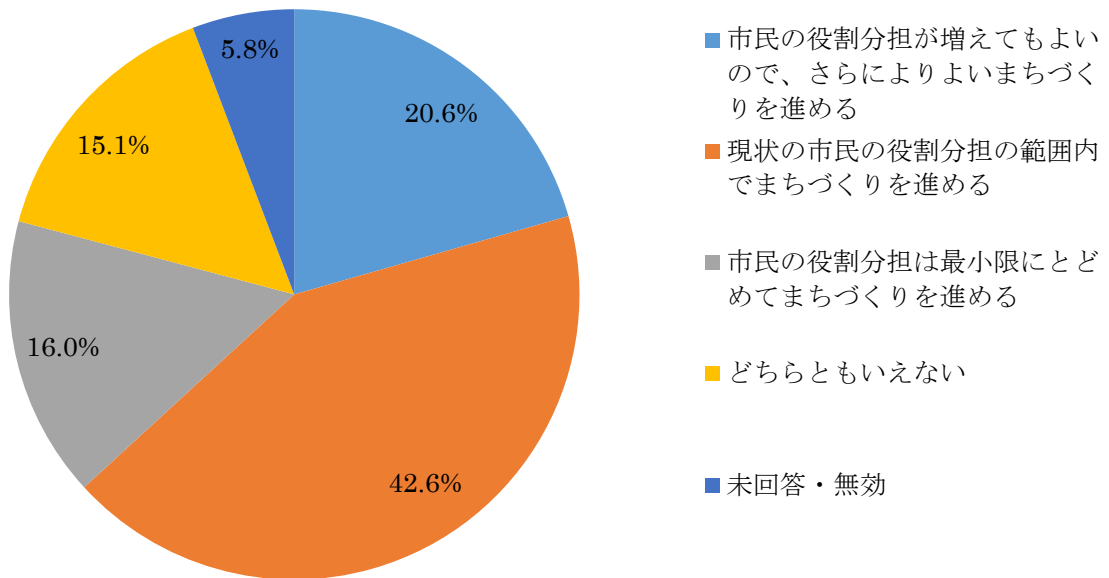


- 「市民の費用負担は現状くらいで、現在の行政サービスを維持する」と回答した人が最も多く、その割合は約58%であった。
- 前回調査とほぼ同じ割合の回答となった。

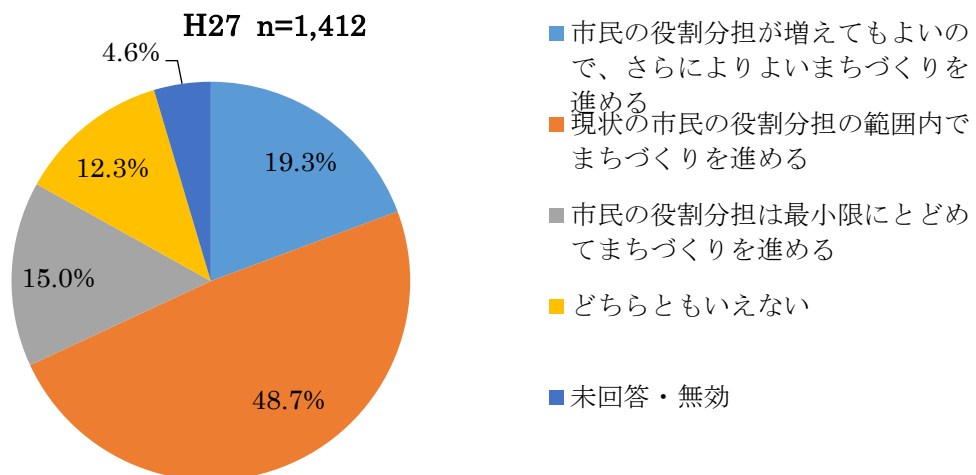


11 行政と市民の役割分担についての考え方

問 1 1 行政と市民の役割分担のあり方



- 「現状の市民の役割分担の範囲内でまちづくりを進める」と回答した人の割合が最も多く、42.6%であった。
- 「市民の役割分担が増えてもよいので、さらによりよいまちづくりを進める」と回答した人の割合は20.6%であった。
- 一方で、「市民の役割分担は最小限にとどめてまちづくりを進める」と回答した人の割合は16.0%であり、市民の役割分担を増やしてもよいと考える人と最小限にとどめるべきであると考える人の割合はほとんど拮抗していた。



4 平均スコア

満足度・重要度の評価を点数化した「平均スコア」により各項目の比較を行った。

点数は以下の通りとし、その平均点の小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までを表示している。

「満足している」	… + 2
「やや満足している」	… + 1
「わからない」	… 0
「やや不満である」	… - 1
「不満である」	… - 2

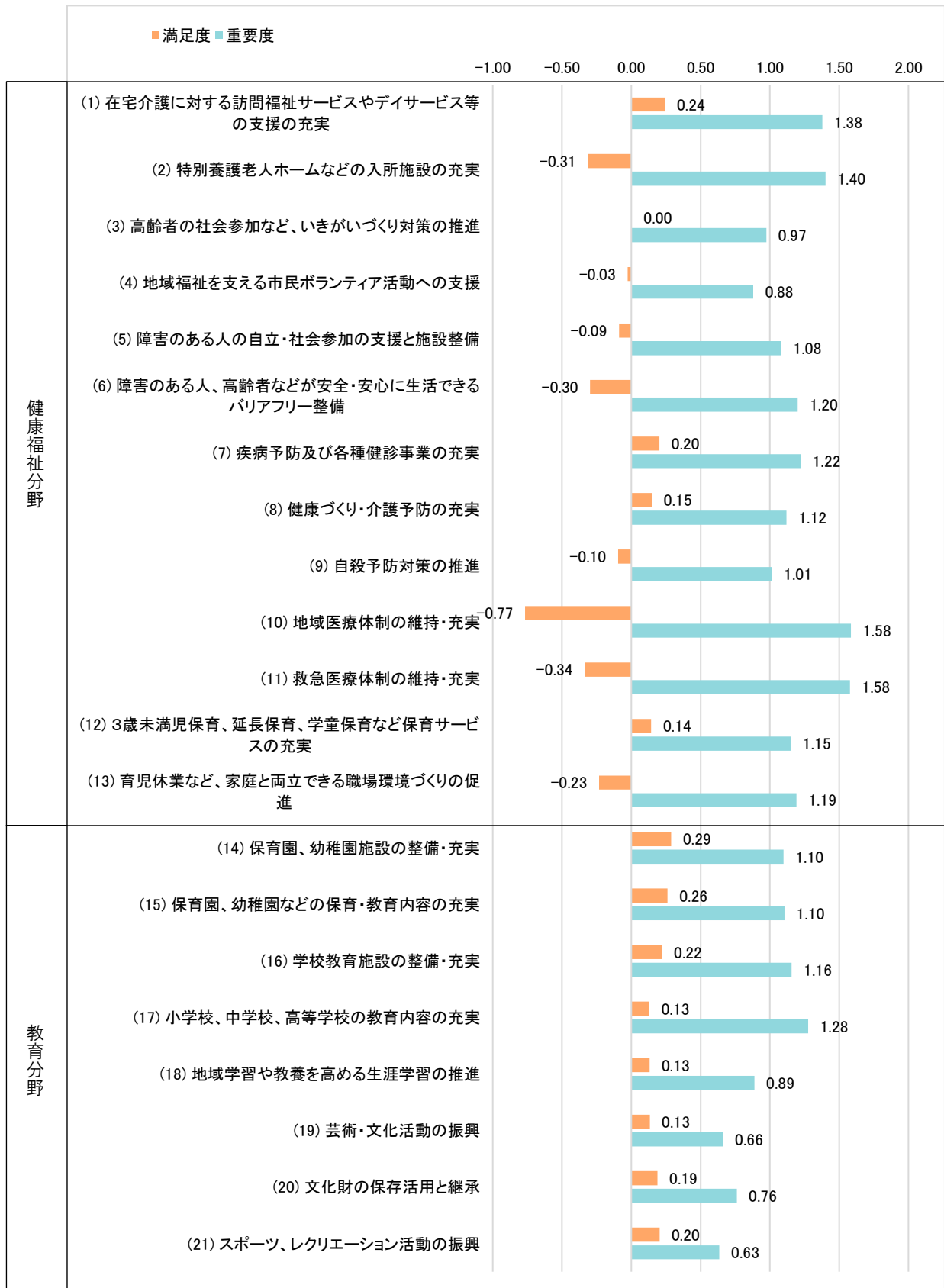
また、前回調査（平成27年）の調査との比較も行った。

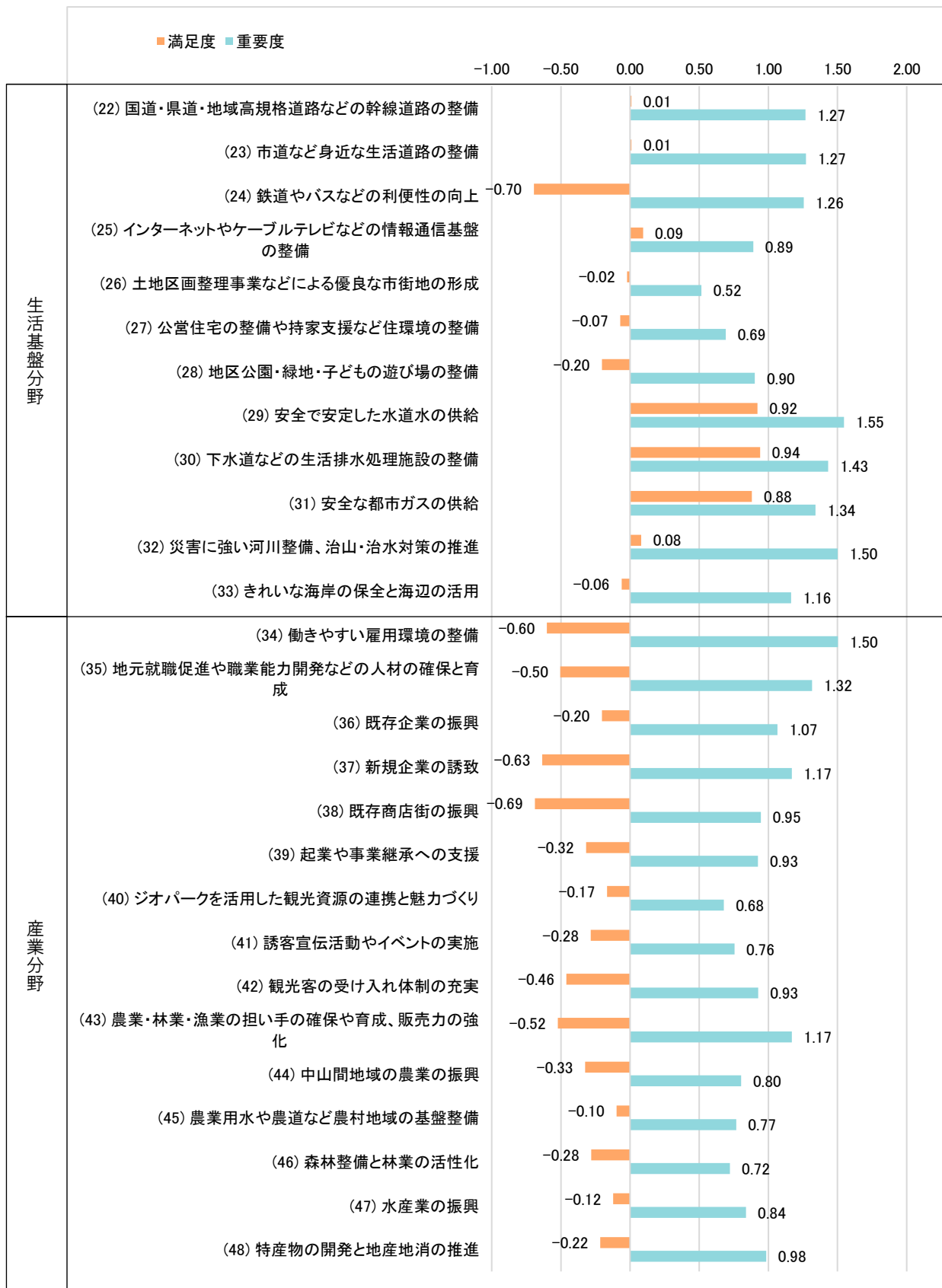
前回と今回の調査では、同じ設問項目でも該当分野が異なっているものがある。そのため、前回の平均値については、今回の分野にあわせて集計をし直し比較を行った。

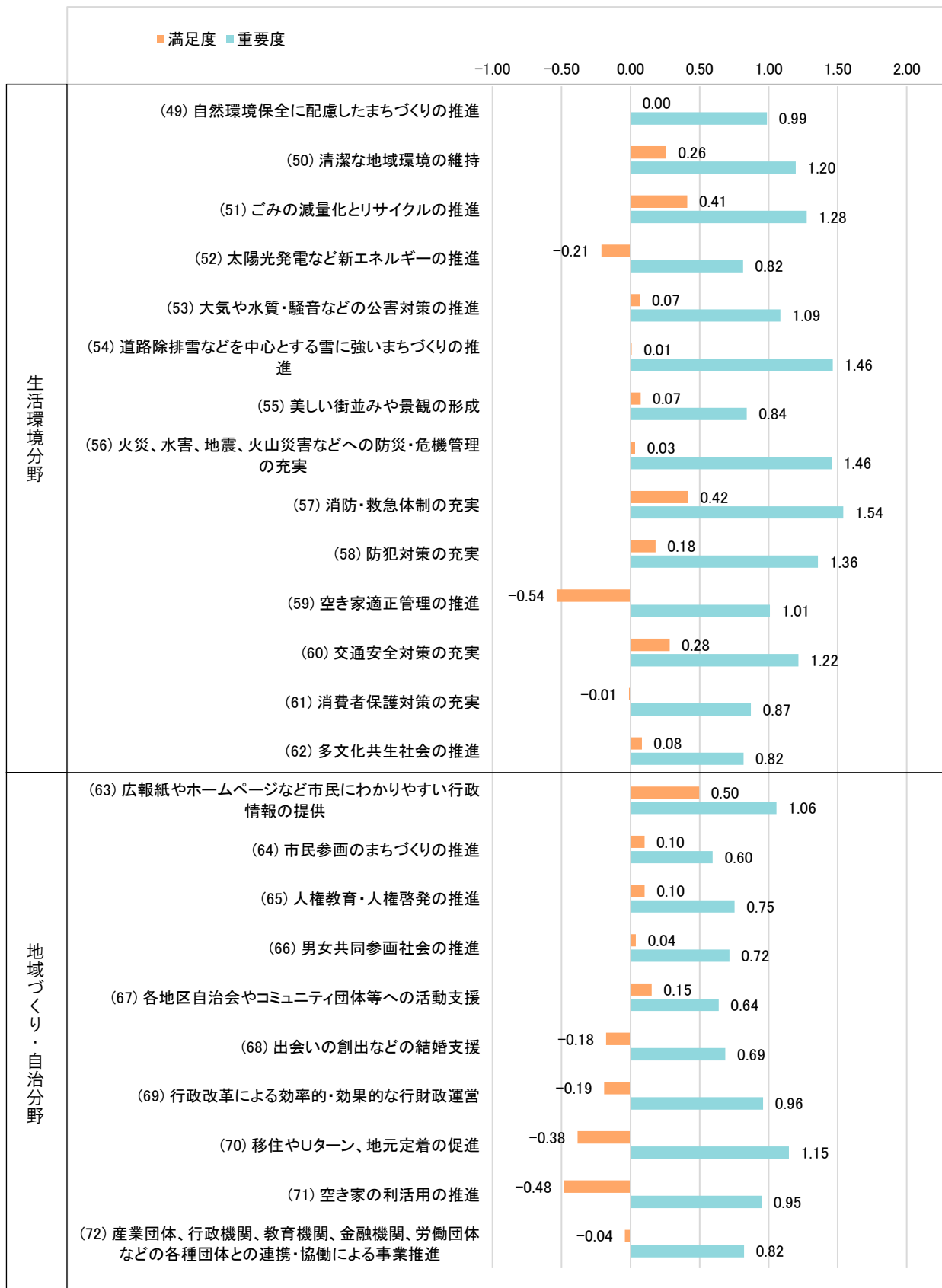
母数は以下のとおり

令和2年度調査	1,366
平成30年度調査	403
平成27年度調査	1,412

1 全項目比較







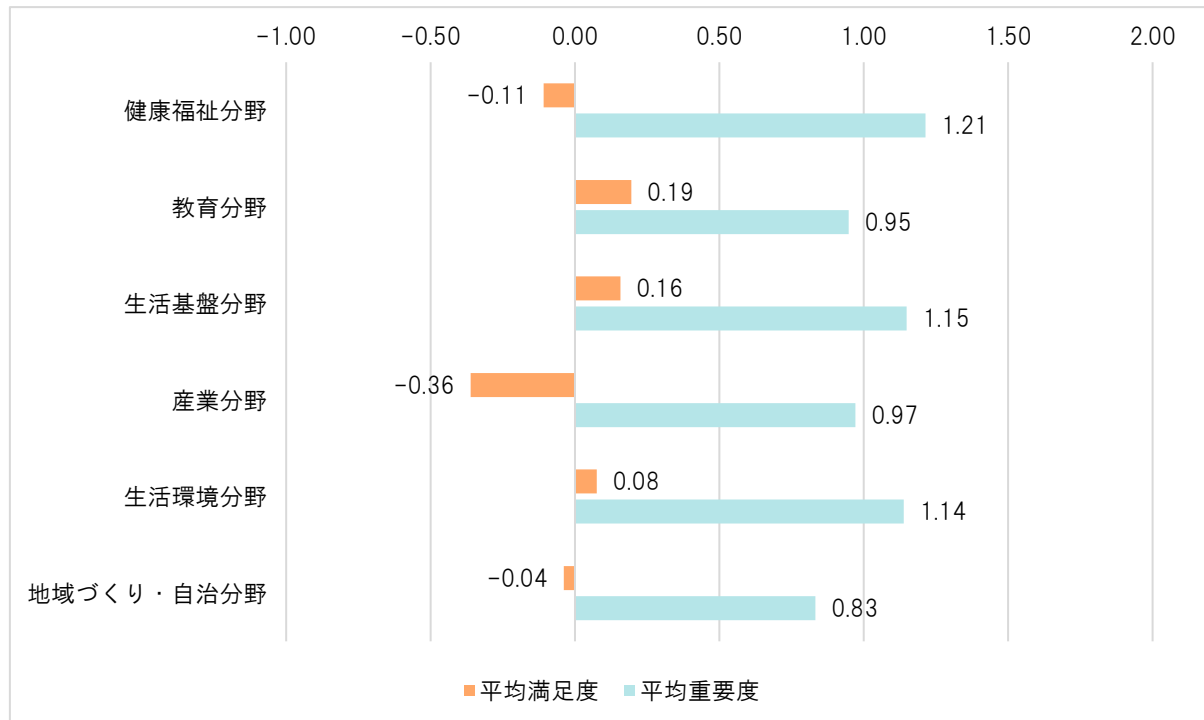
■満足度の低い項目上位 10 項目

1	地域医療体制の維持・充実	-0.77Pt
2	鉄道やバスなどの利便性の向上	-0.70Pt
3	起業や事業継承への支援	-0.69Pt
4	新規企業の誘致	-0.63Pt
5	働きやすい雇用環境の整備	-0.60Pt
6	空き家適正管理の推進	-0.54Pt
7	農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	-0.52Pt
8	地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	-0.50Pt
9	空き家の利活用の推進	-0.48Pt
10	観光客の受入態勢の充実	-0.46Pt

■重要度の高い項目上位 10 項目

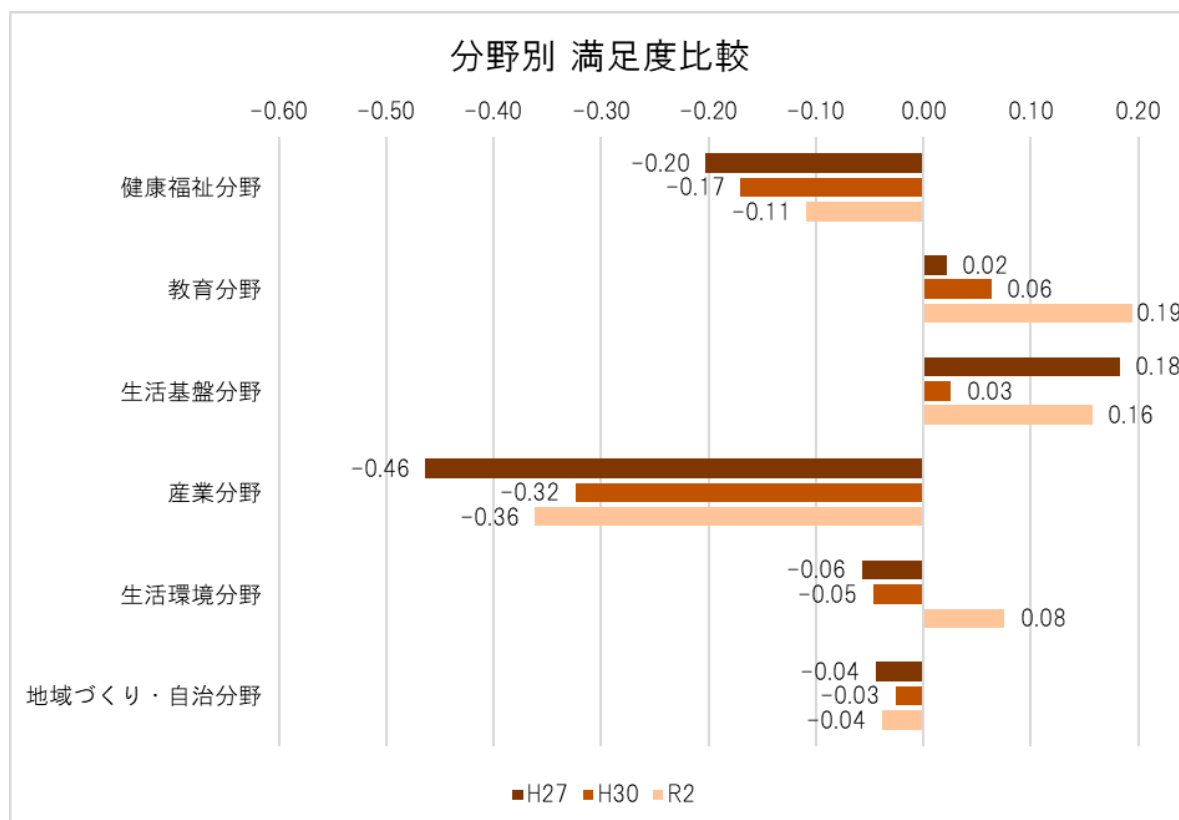
1	地域医療体制の維持・充実	1.58Pt
1	救急医療体制の維持・充実	1.58Pt
3	安全で安定した水道水の供給	1.55Pt
4	消防・救急体制の充実	1.54Pt
5	災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.50Pt
5	働きやすい雇用環境の整備	1.50Pt
7	道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.46Pt
7	火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.46Pt
9	下水道などの生活排水処理施設の整備	1.43Pt
10	特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.40Pt

2 分野別満足度・重要度



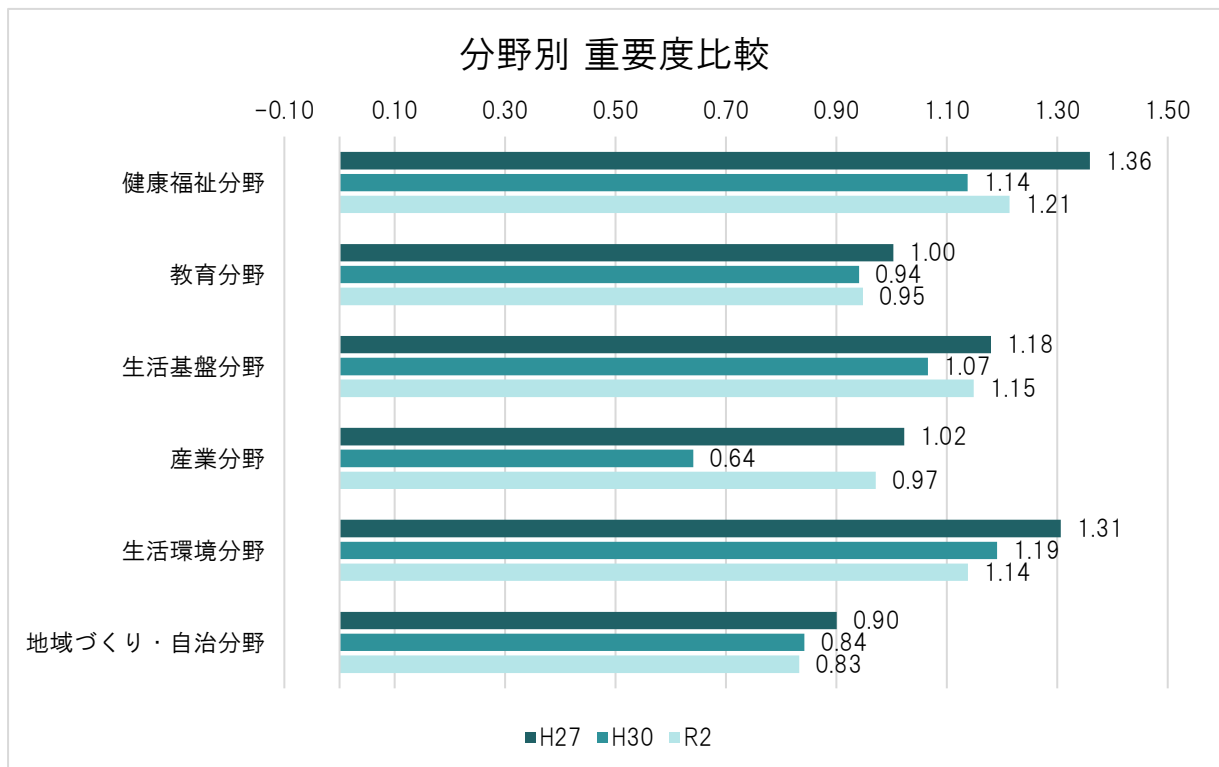
- ① 健康福祉分野
 - 平均満足度は-0.11、平均重要度は1.21だった。
 - 現状にやや不満感があり、今後の重要度は**最も高い1番目**だった。
- ② 教育分野
 - 平均満足度は0.19、平均重要度は0.95だった。
 - 現状にやや満足感があり、今後の重要度は**5番目**に高かった。
- ③ 生活基盤分野
 - 平均満足度は0.16、平均重要度は1.15だった。
 - 現状にやや満足感があり、今後の重要度は**2番目**に高かった。
- ④ 産業分野
 - 平均満足度は-0.36、平均重要度は0.97だった。
 - 現状に**最も不満感**があり、今後の重要度は**4番目**に高かった。
- ⑤ 生活環境分野
 - 平均満足度は0.08、平均重要度は1.14だった。
 - 現状はやや満足感があり、今後の重要度は**3番目**に高かった。
- ⑥ 地域づくり・自治分野
 - 平均満足度は-0.04、平均重要度は0.83だった。
 - 現状はやや不満があり、今後の重要度は**最も低い6番目**だった。

3 分野別満足度 前回調査との比較



- ① 健康福祉分野
 - H27 調査-0.20、H30 調査-0.17 に対し、R2 調査-0.11 と前回より 0.06 ポイント上昇した。
- ② 教育分野（前回調査までの「子育て・教育分野」）
 - H27 調査 0.02、H30 調査 0.06 に対し、R2 調査-0.19 と前回より 0.13 ポイント上昇した。
- ③ 生活基盤分野（前回調査までの「土地利用・公共インフラ分野」）
 - H27 調査 0.18、H30 調査 0.03 に対し、R2 調査 0.16 と前回より 0.13 ポイント上昇した。 前々回の水準までは回復していない。
- ④ 産業分野
 - H27 調査-0.46、H30 調査-0.32 に対し、R2 調査-0.36 と前回より 0.04 ポイント低下した。
- ⑤ 生活環境分野（前回調査までの「環境・防災・防犯分野」）
 - H27 調査-0.06、H30 調査-0.05 に対し、R2 調査 0.08 と前回より 0.13 ポイント上昇した。 これにより平均値はプラスに転じた。
- ⑥ 地域づくり・自治分野（前回調査までの「地域づくり・市民活動・移住定住分野」および「行財政分野」）
 - H27 調査-0.04、H30 調査-0.03 に対し、R2 調査-0.04 と前回より 0.01 ポイント低下した。

4 分野別重要度 前回調査との比較



① 健康福祉分野

- H27 調査 1.36、H30 調査 1.14 に対し、R2 調査 1.21 と前回より 0.07 ポイント上昇した。

② 教育分野（前回調査までの「子育て・教育分野」）

- H27 調査 1.00、H30 調査 0.94 に対し、R2 調査 0.95 と前回より 0.01 ポイント上昇した。

③ 生活基盤分野（前回調査までの「土地利用・公共インフラ分野」）

- H27 調査 1.18、H30 調査 1.07 に対し、R2 調査 1.15 と前回より 0.08 ポイント上昇した。

④ 産業分野

- H27 調査 1.02、H30 調査 0.64 に対し、R2 調査 0.97 と前回より 0.33 ポイント上昇した。

⑤ 生活環境分野（前回調査までの「環境・防災・防犯分野」）

- H27 調査 1.31、H30 調査 1.19 に対し、R2 調査 1.14 と前回より 0.05 ポイント低下した。

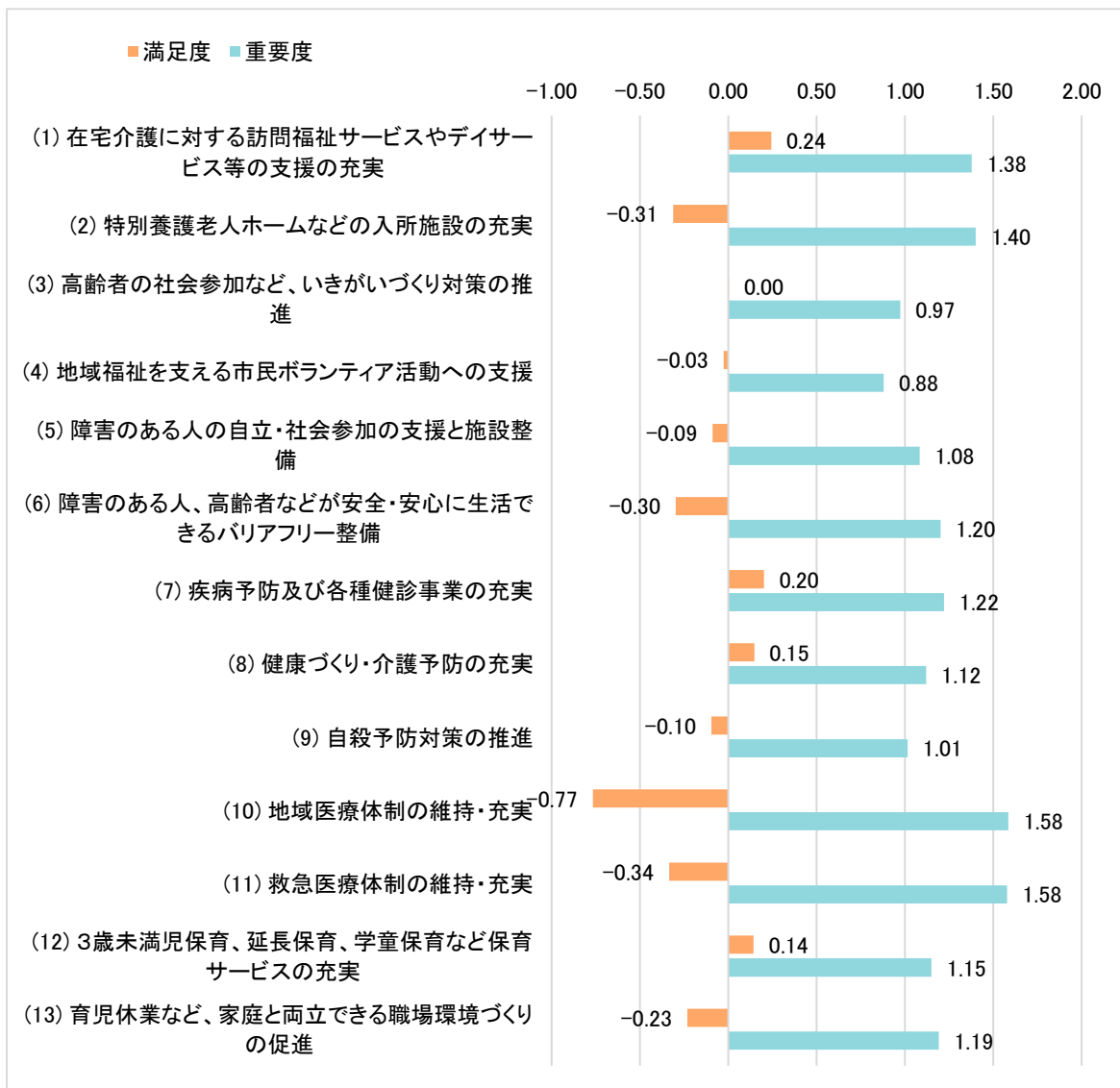
⑥ 地域づくり・自治分野（前回調査までの「地域づくり・市民活動・移住定住分野」および「行財政分野」）

- H27 調査 0.90、H30 調査 0.84 に対し、R2 調査 0.83 と前回より 0.01 ポイント低下した。

5 項目別平均スコア

(1) 健康福祉分野

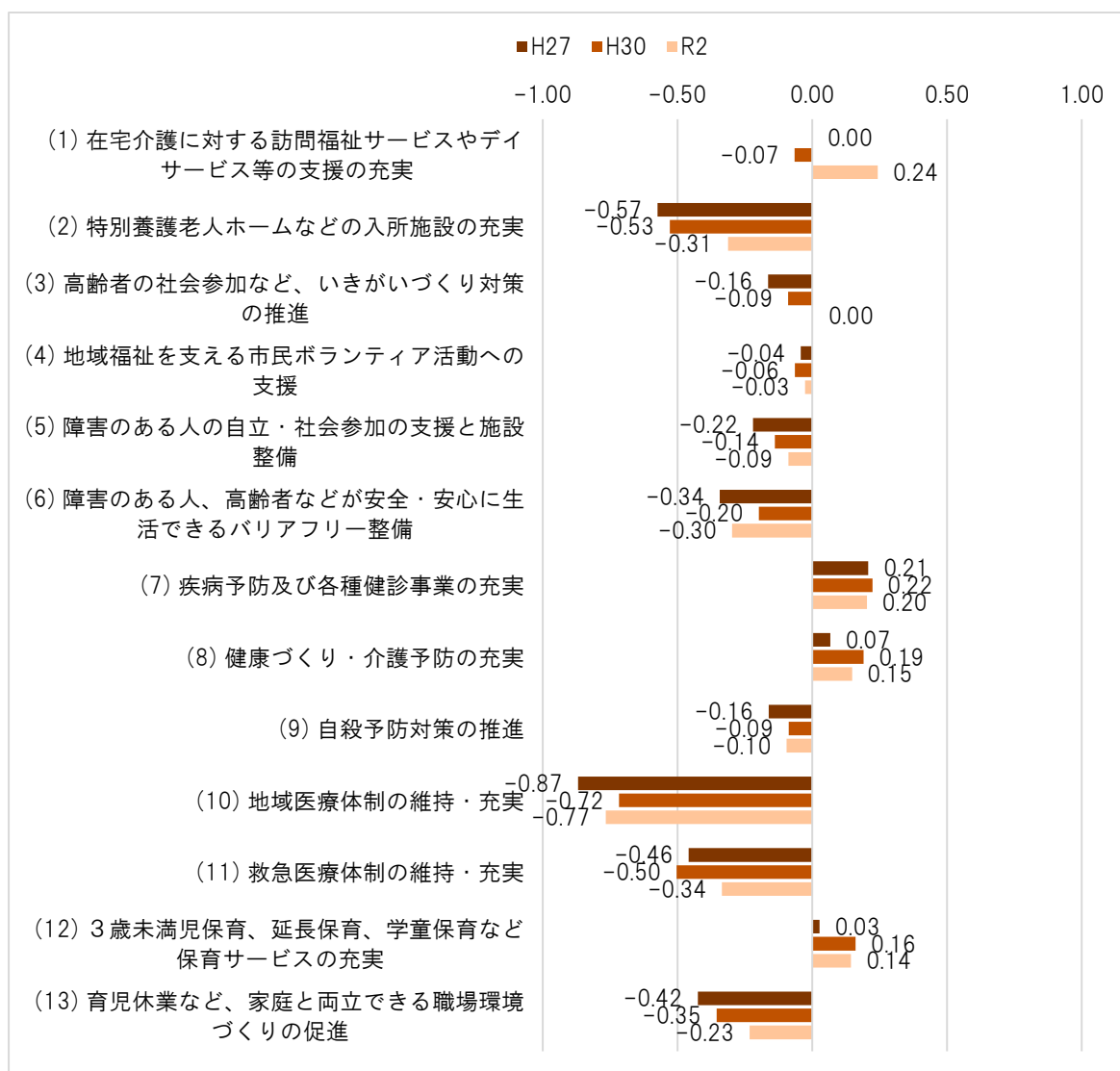
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(10) 地域医療体制の維持・充実』、『(11) 救急医療体制の維持・充実』、『(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』、『(6) 障がいのある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(10) 地域医療体制の維持・充実』、『(11) 救急医療体制の維持・充実』、『(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』、『(1) 在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実』などだった。
- とくに満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(10) 地域医療体制の維持・充実』、『(11) 救急医療体制の維持・充実』だった。

健康福祉分野

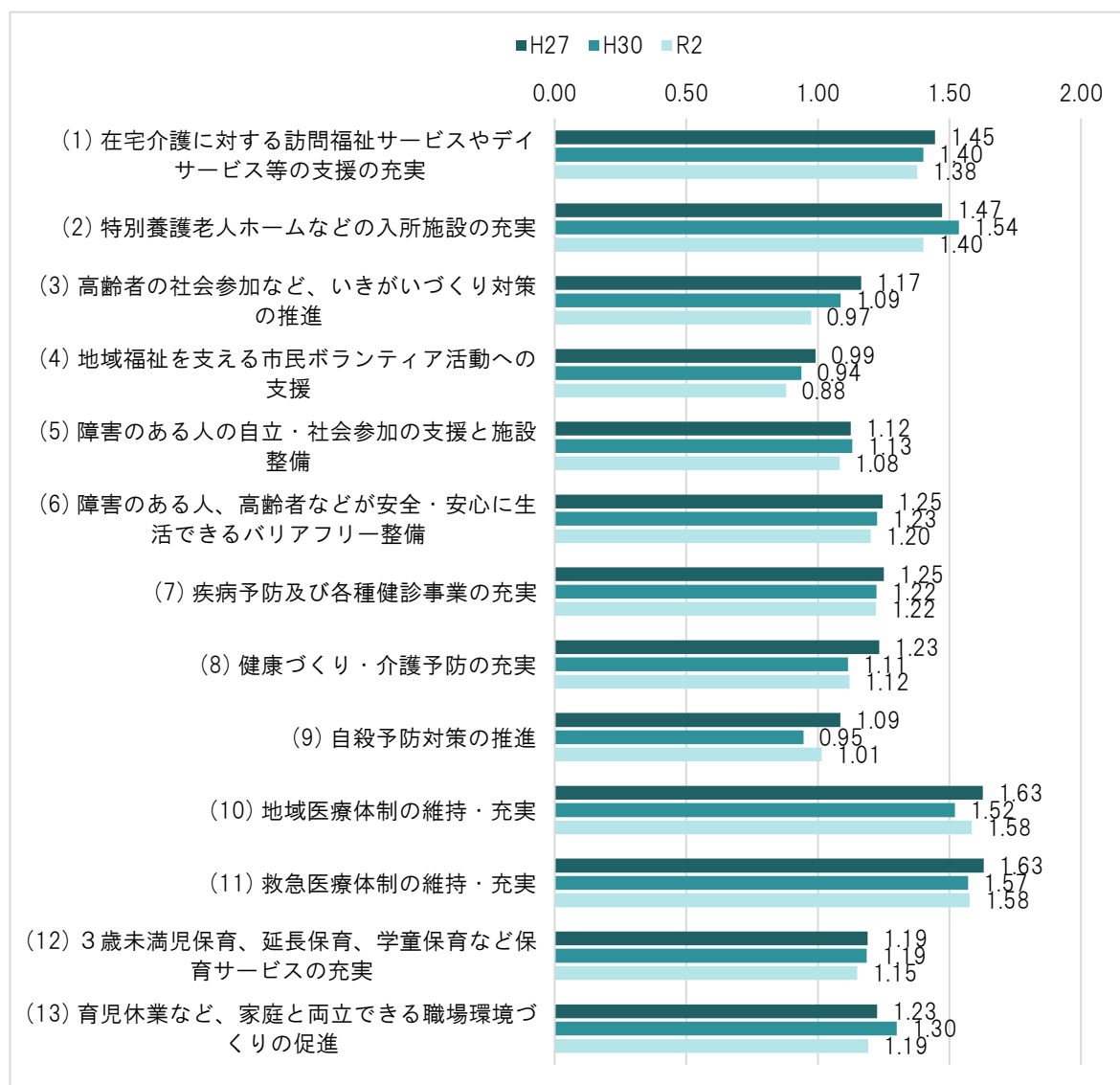
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(1)在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実』、『(2)特別養護老人ホームなどの入所施設の充実』、『(11)救急医療体制の維持・充実』、『(13)育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進』などは、満足度が上昇・改善した。
- 『(7)疾病予防及び各種健診事業の充実』、『(8)健康づくり・介護予防の充実』、『(12)3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実』は、満足度が概ね横ばいだった。

健康福祉分野

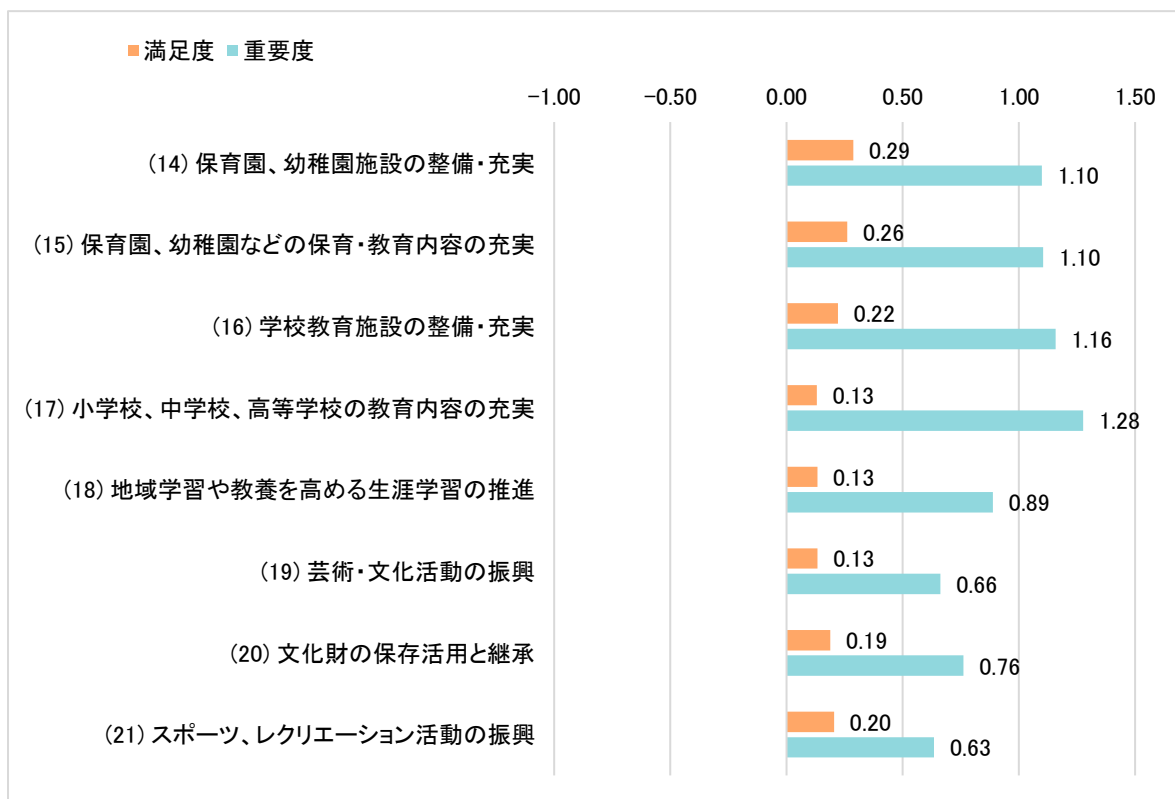
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは減少傾向にあるが、全体に大きな変化は見られない。

(2) 教育分野

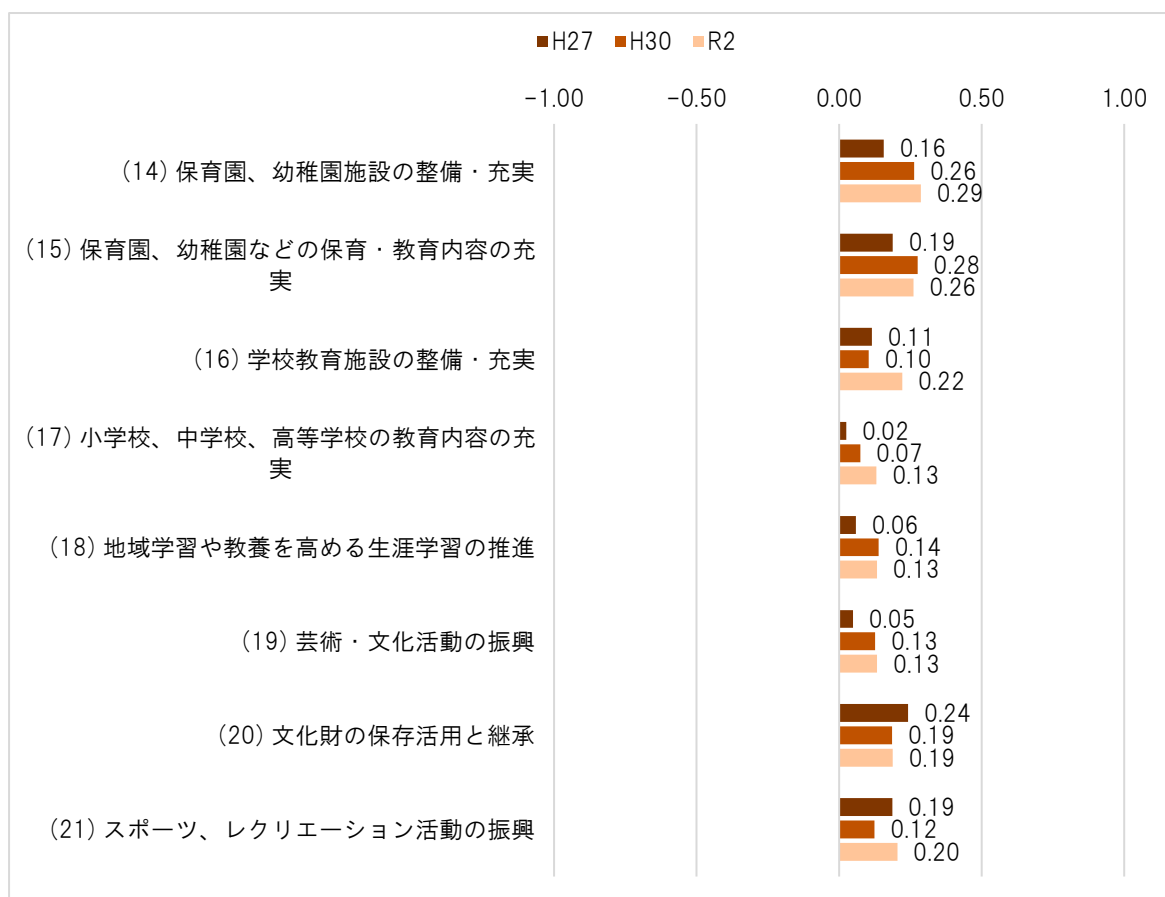
①満足度・重要度



- 満足度は、全体的にプラスだった。
- 重要度が高かったのは、『(17)小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実』、『(16)学校教育施設の整備・充実』、『(14)保育園、幼稚園施設の整備・充実』、『(15)保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実』だった。

教育分野

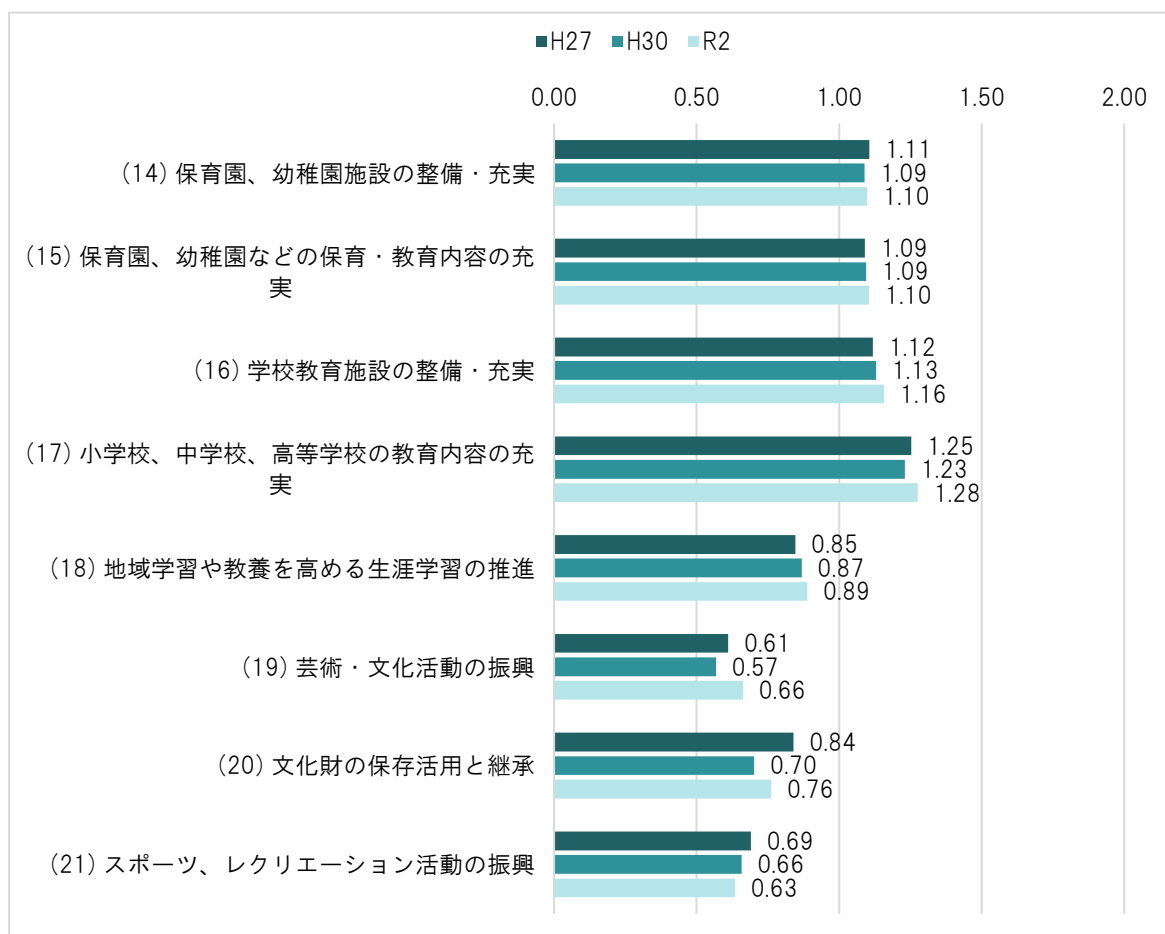
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(16)学校教育施設の整備・充実』は、満足度が0.12ポイント上昇した。

教育分野

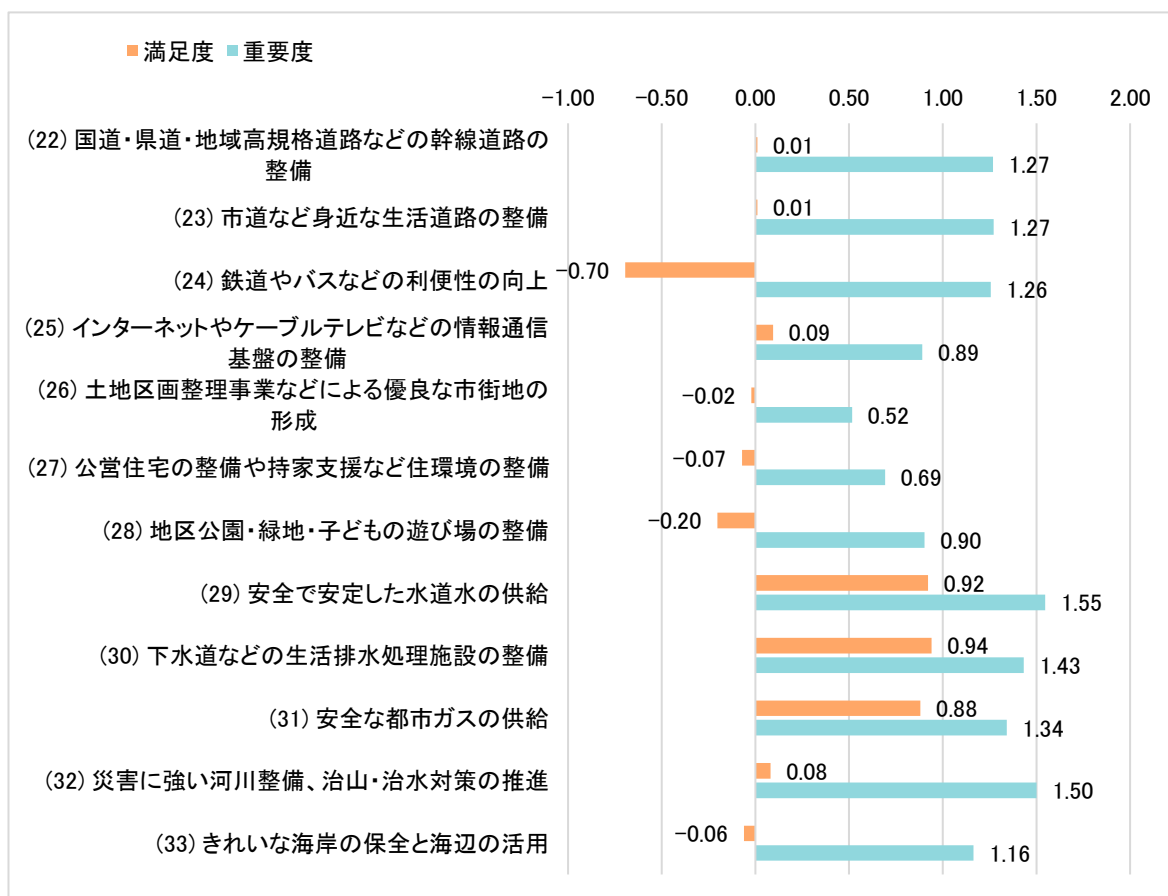
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは横ばいかやや増加傾向にあるが、全体に大きな変化は見られない。

(3) 生活基盤分野

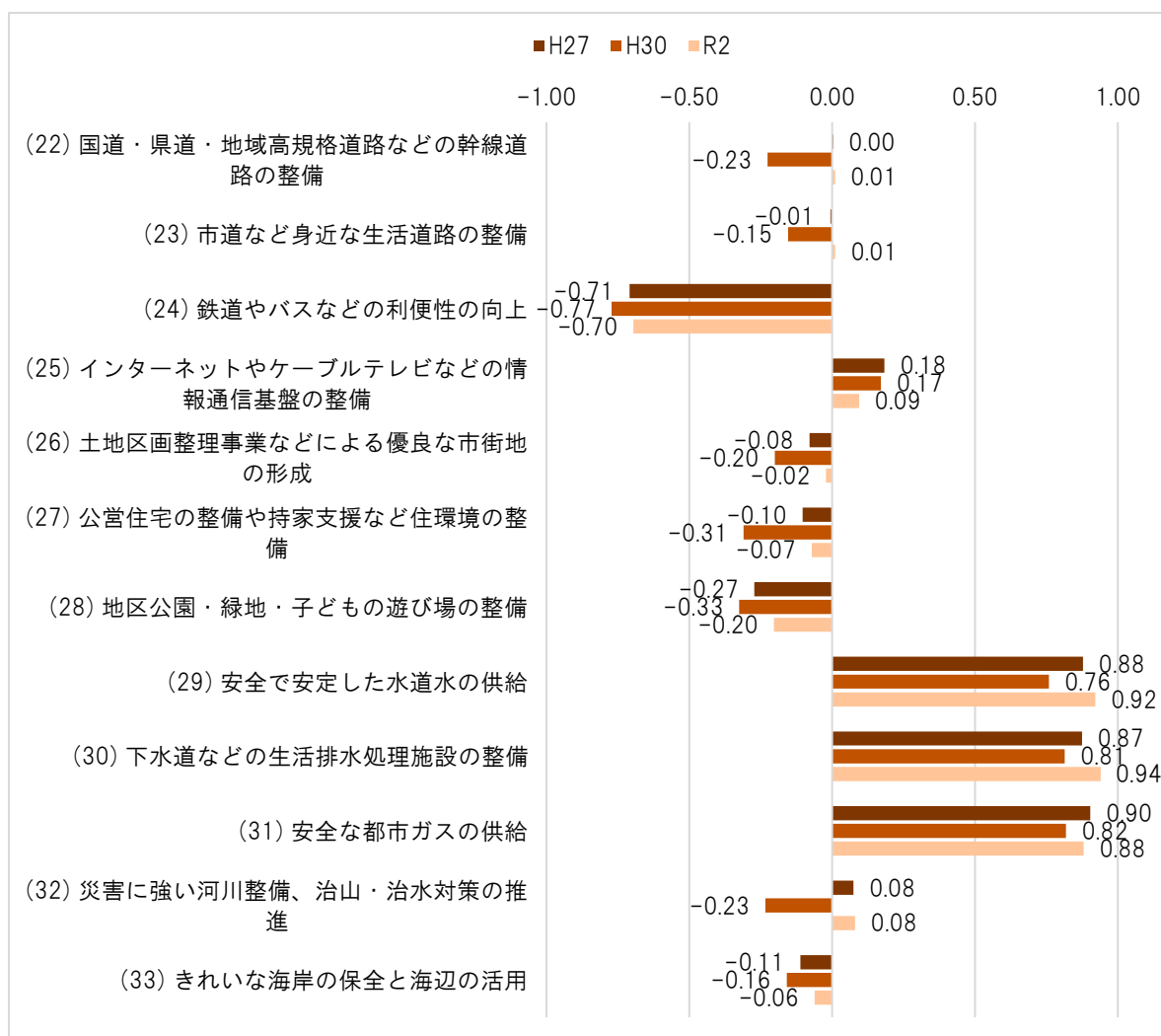
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』、『(28)地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(29)安全で安定した水道水の供給』、『(32)災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』、『(30)下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(31)安全な都市ガスの供給』だった。これらは、満足度も高かった。
- 一方で、満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(24)鉄道やバスなどの利便性の向上』だった。

生活基盤分野

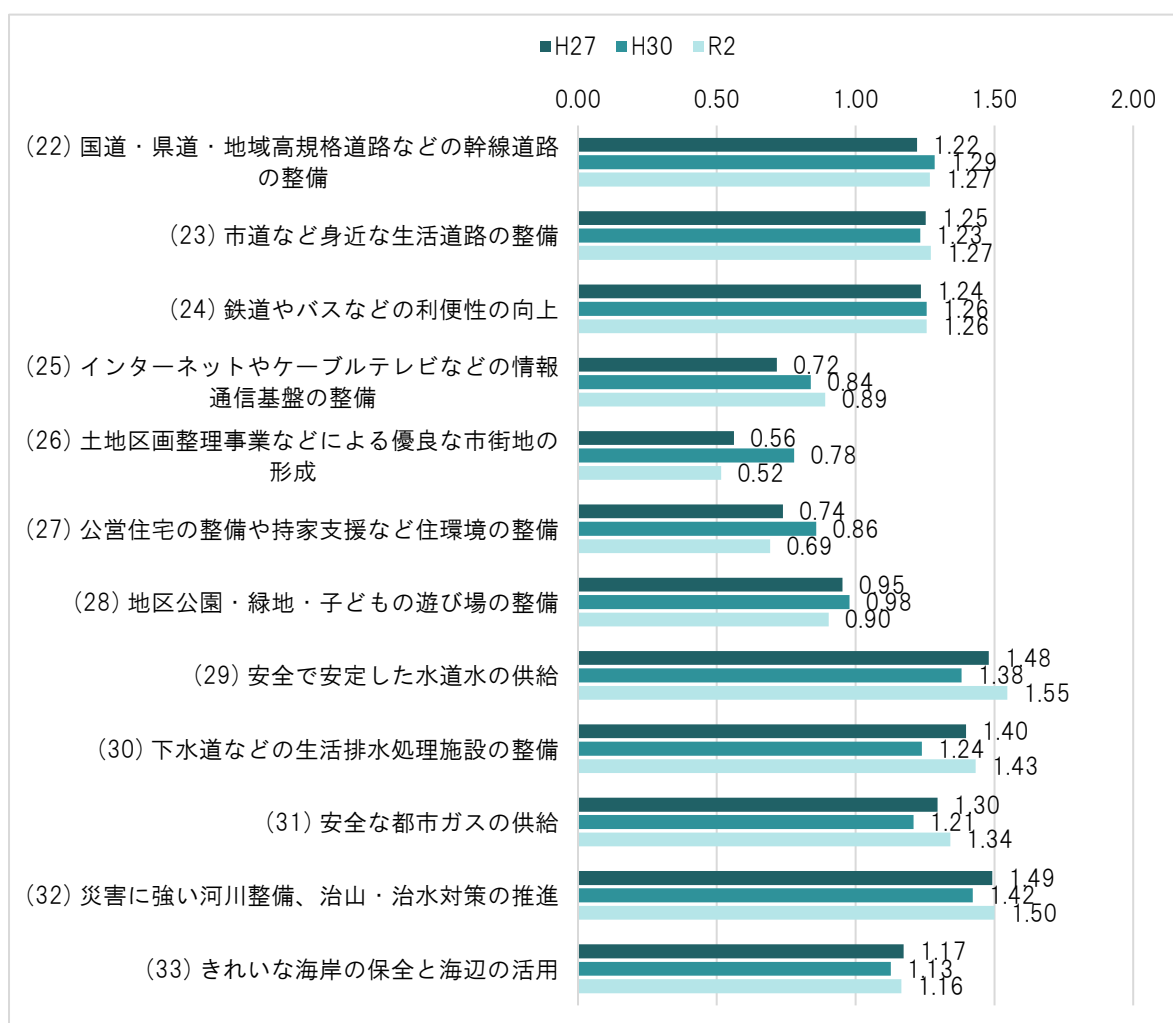
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(22) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備』、『(23) 市道など身近な生活道路の整備』、『(26) 土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成』、『(27) 公営住宅の整備や持家支援など住環境の整備』、『(29) 安全で安定した水道水の供給』、『(30) 下水道などの生活排水処理施設の整備』、『(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進』などは満足度が上昇・改善した。
- 『(25) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備』のみ、満足度が 0.08 ポイント低下した。

生活基盤分野

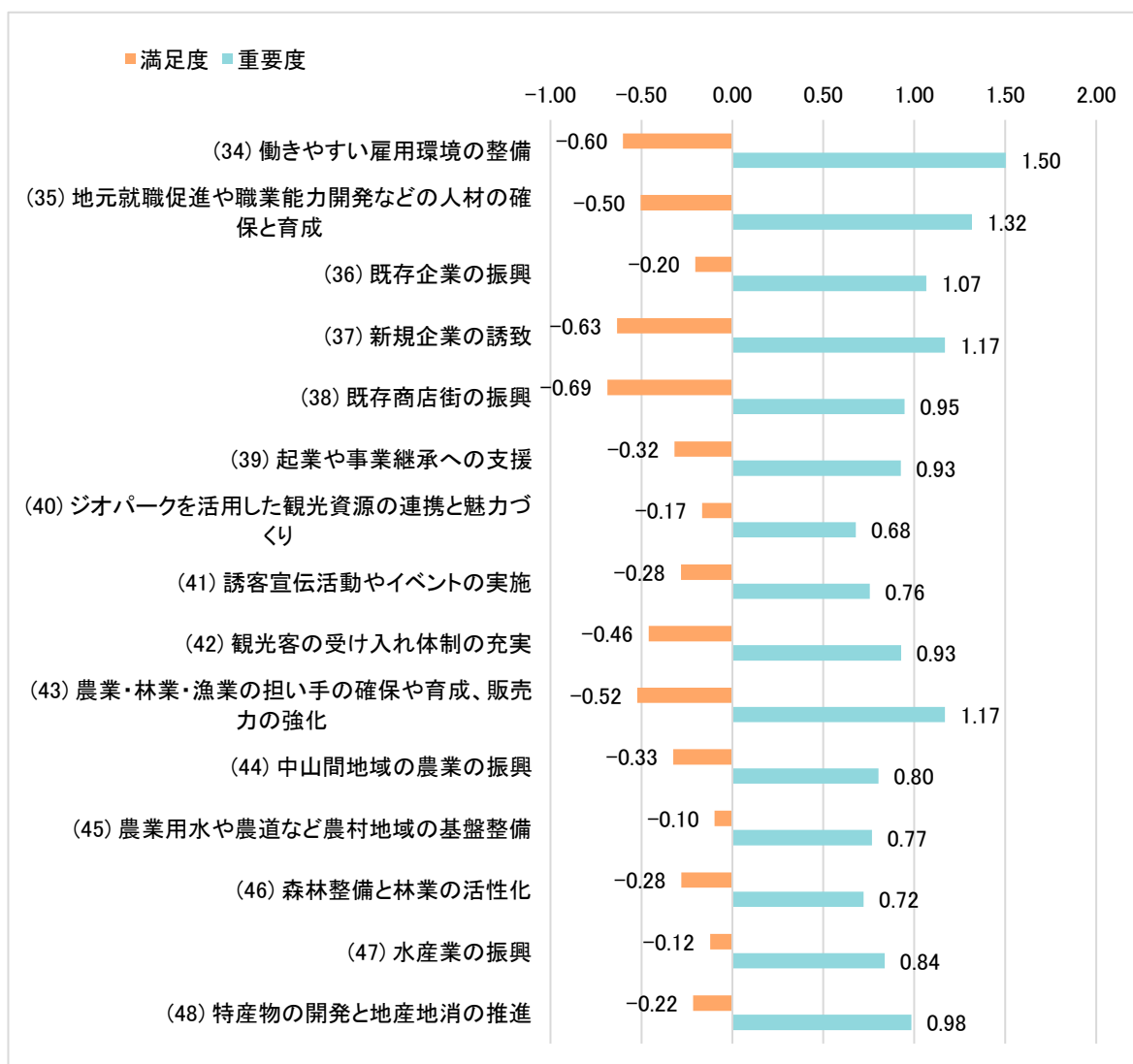
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは増加傾向にあるが、全体に大きな変化は見られない。
- 『(26)土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成』については、重要度が0.26ポイントと大きく低下した。

(4) 産業分野

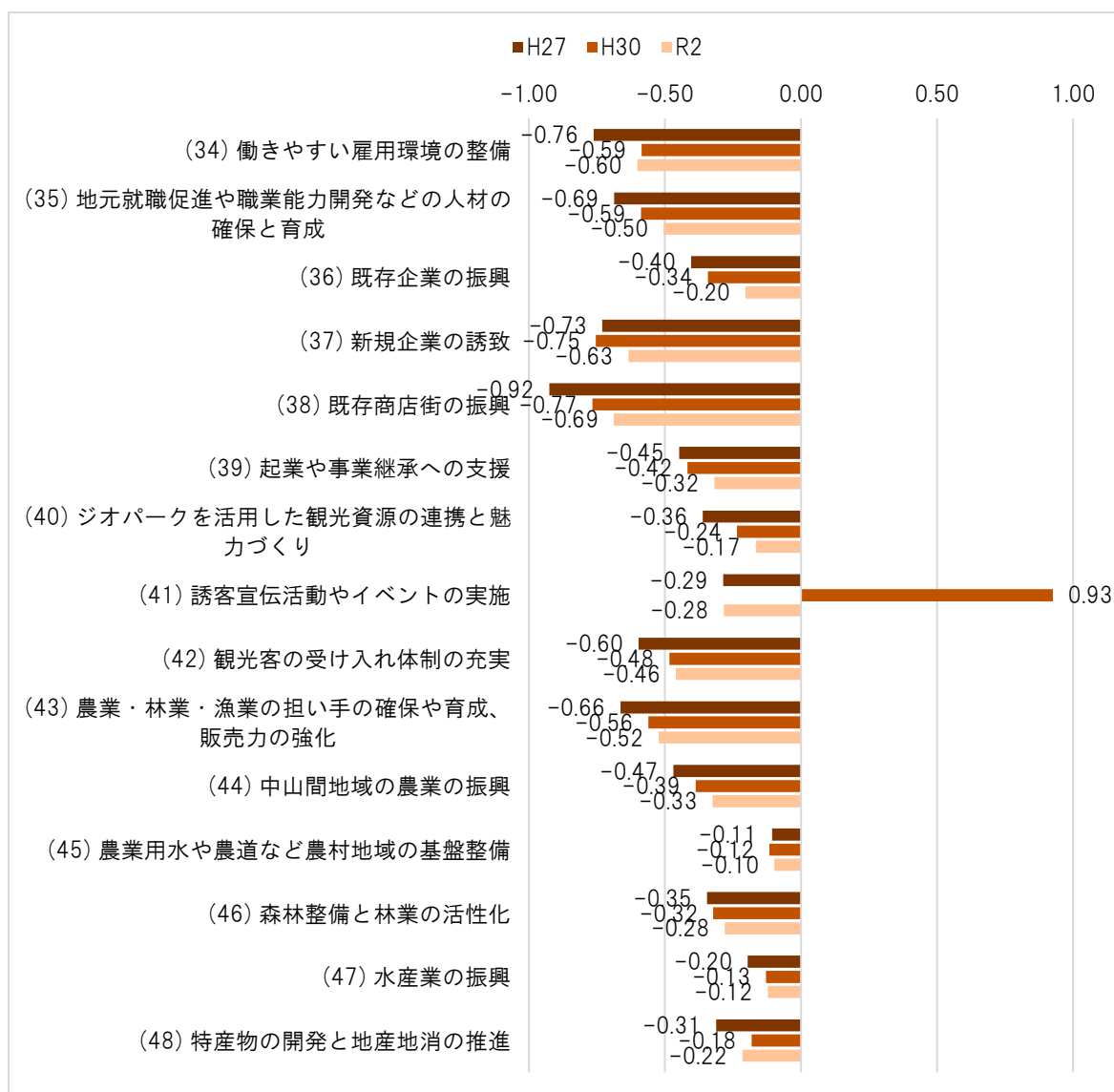
①満足度・重要度



- 満足度は、全体的にマイナスだった。
- 満足度が大きくマイナスとなった項目は、『(38) 既存商店街の振興』、『(37) 新規企業の誘致』、『(34) 働きやすい雇用環境の整備』などだった。
- 重要度が高かったのは、『(34) 働きやすい雇用環境の整備』、『(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成』などだった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(34) 働きやすい雇用環境の整備』など多くあった。

産業分野

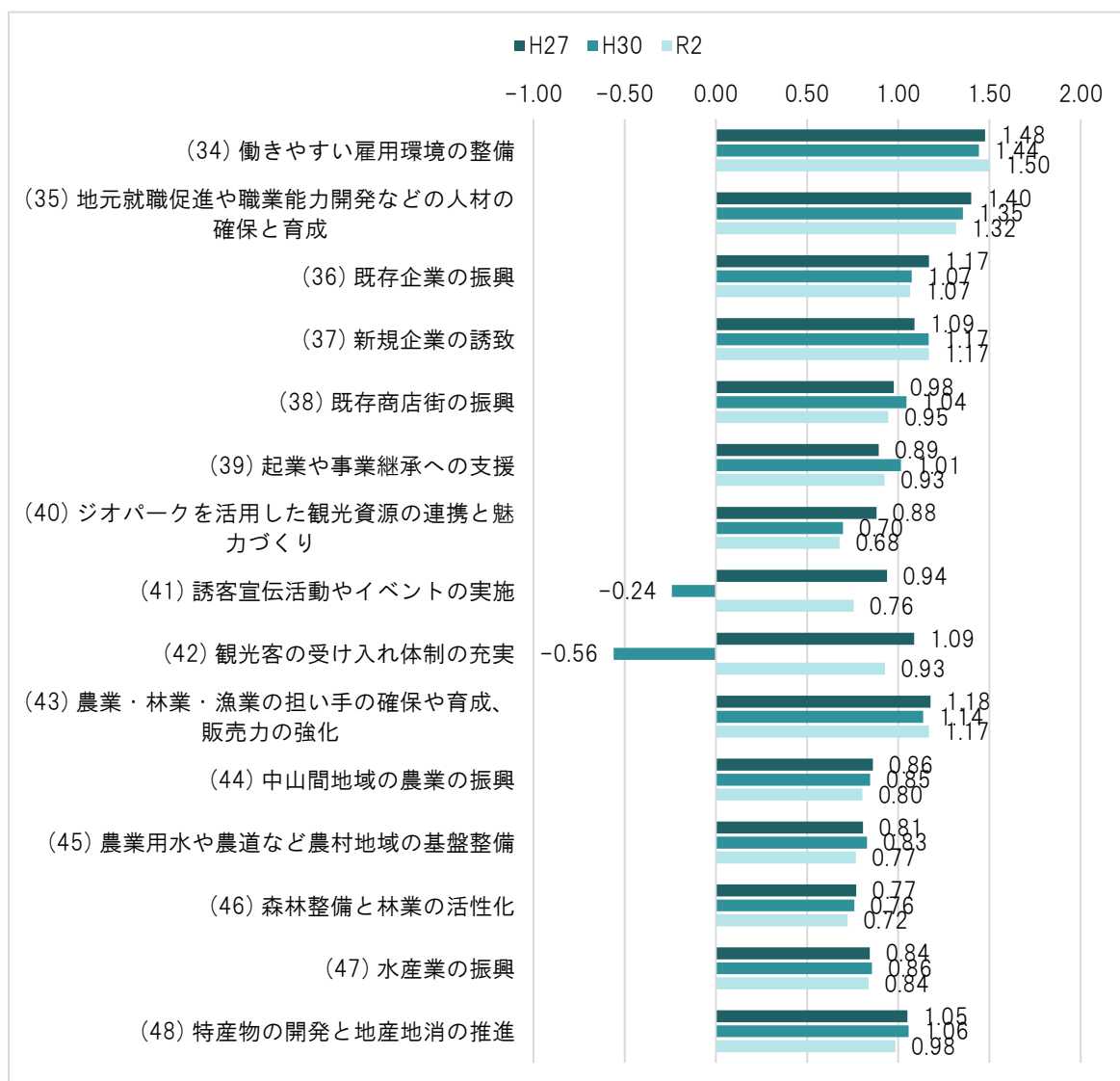
②過去の調査との比較＜満足度＞



- ほとんどの項目で満足度が上昇・改善した。
- 『(41)誘客宣伝活動やイベントの実施』は、満足度が1.21ポイントと大幅に低下した。ただし、前回調査の結果が異例の満足度の高さを示していたため、前々回の水準に戻ったとも考えられる。

産業分野

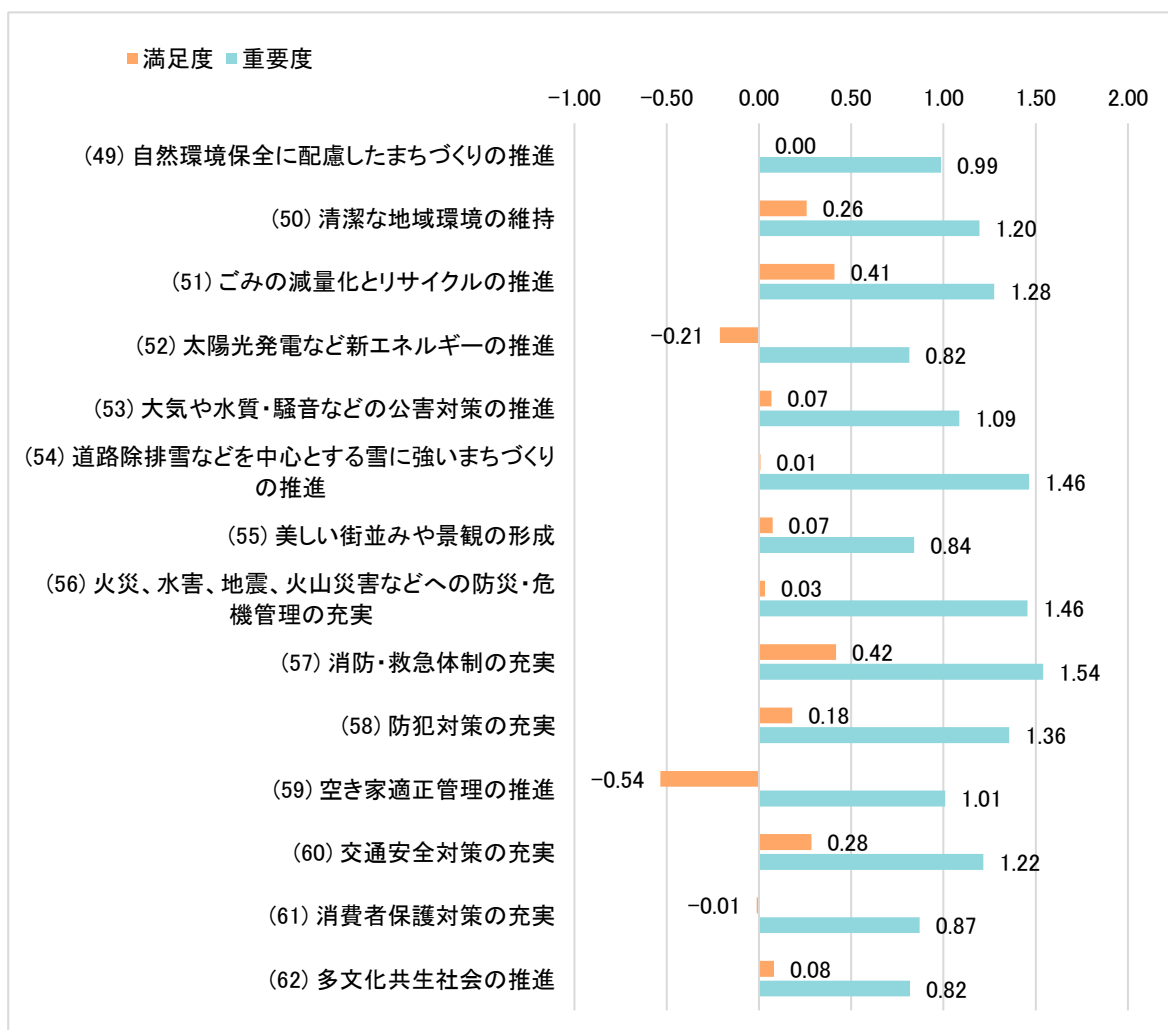
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントは減少傾向にあるが、全体としては大きな変化は見られない。
- 『(42)観光客の受け入れ体制の充実』、『(41)誘客宣伝活動やイベントの実施』については、重要度のポイントが大きく上昇した。ただし、これは前々回の調査の水準に近い値まで戻ったに過ぎないとも考えられる。

(5) 生活環境分野

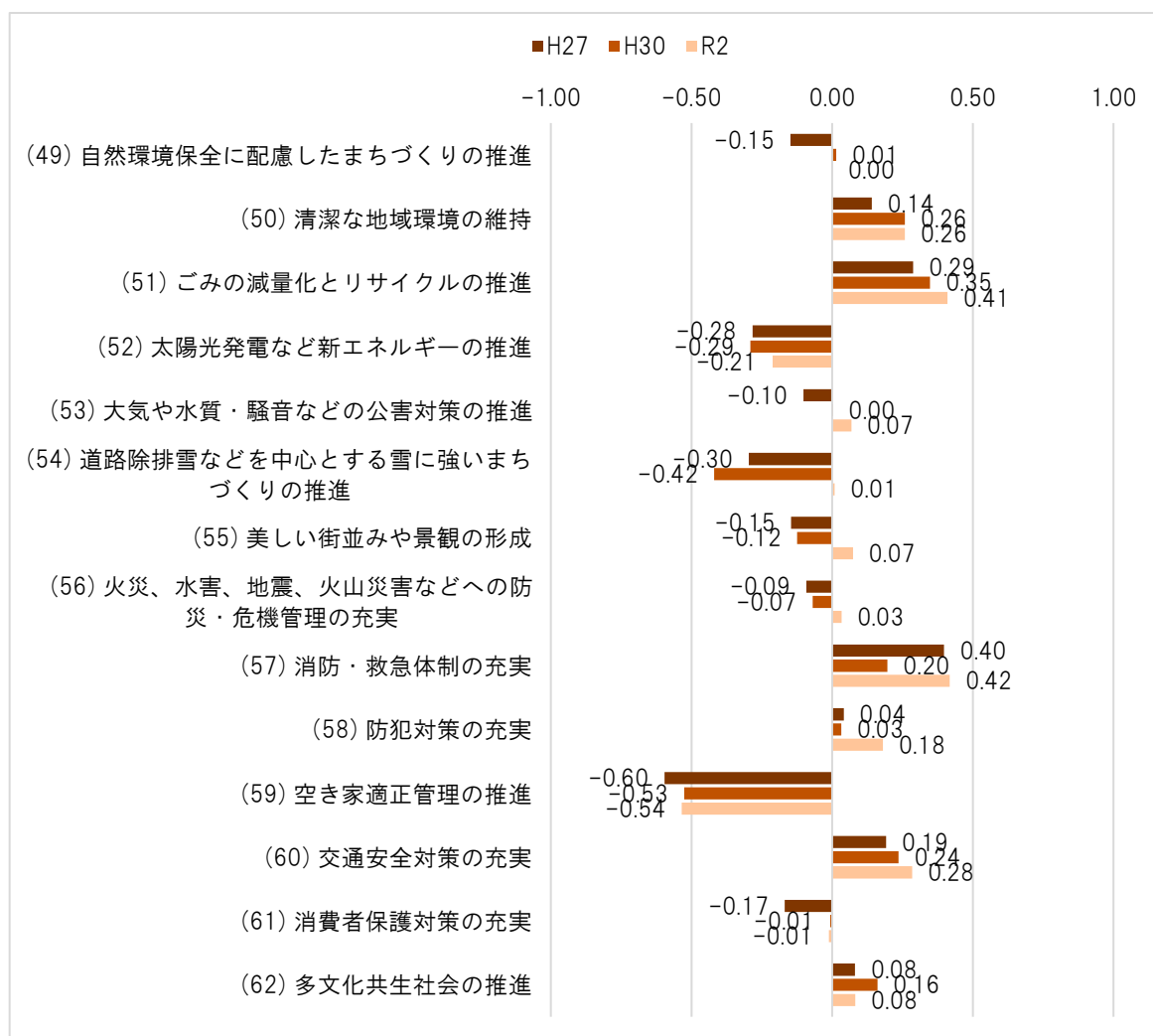
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(59) 空き家適正管理の推進』、『(52) 太陽光発電など新エネルギーの推進』だった。
- 重要度が高かったのは、『(57) 消防・救急体制の充実』、『(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(58) 防犯対策の充実』などだった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は『(59) 空き家適正管理の推進』だった。

生活環境分野

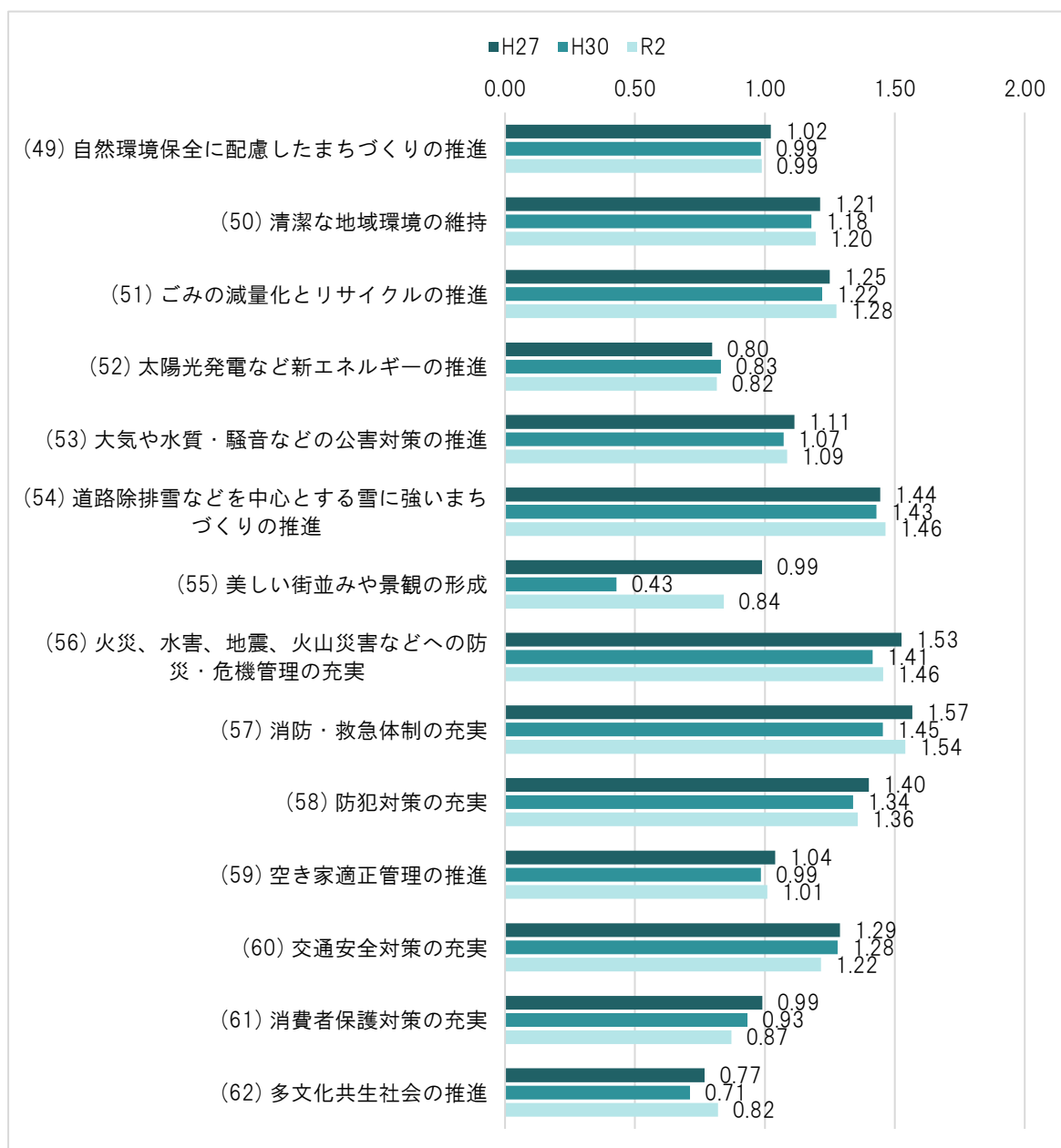
②過去の調査との比較＜満足度＞



- 『(54)道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進』、『(55)美しい街並みや景観の形成』、『(57)消防・救急体制の充実』、『(58)防犯対策の充実』、『(51)ごみの減量化とリサイクルの推進』、『(52)太陽光発電など新エネルギーの推進』、『(53)大気や水質・騒音などの公害対策の推進』などは満足度が上昇・改善した。
- 『(62)多文化共生社会の推進』では、満足度が低下した。

生活環境分野

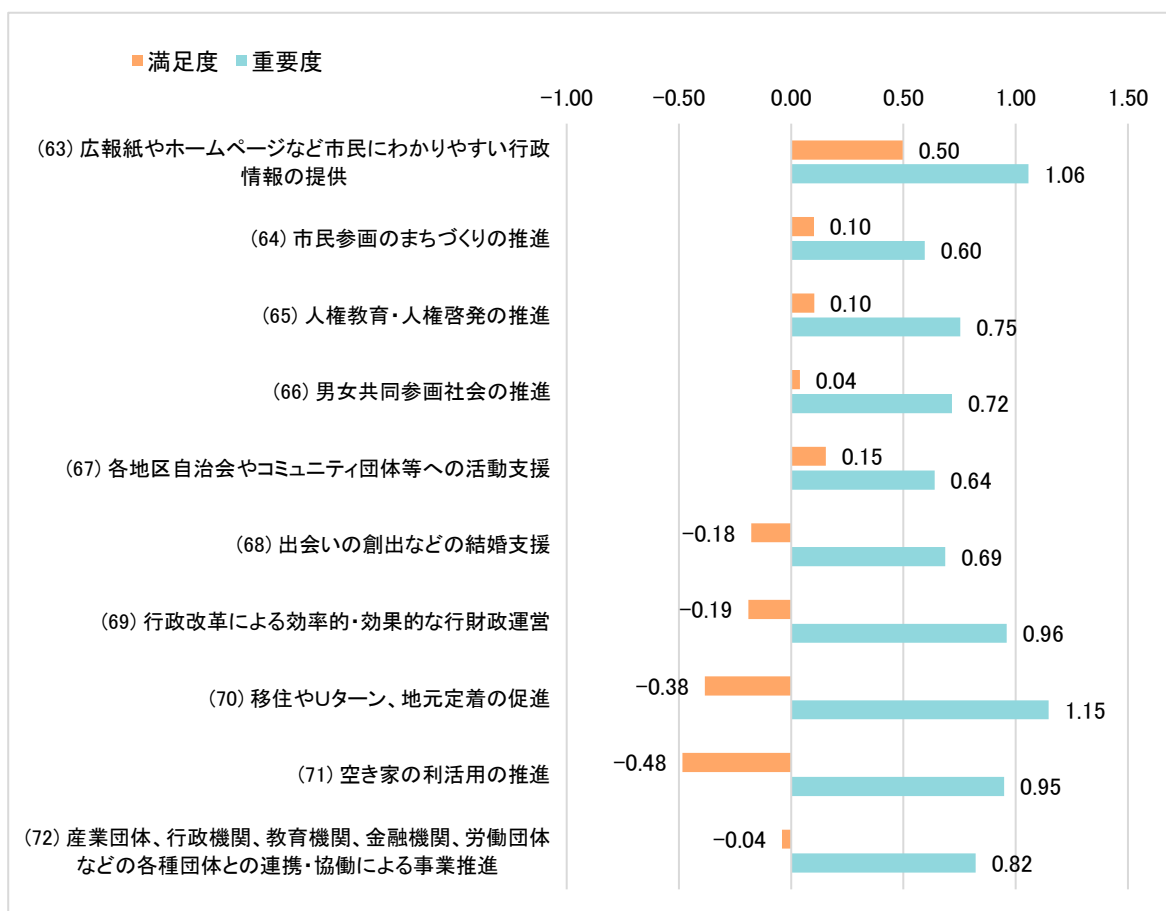
③過去の調査との比較<重要度>



- 前回と比べ重要度のポイントはどちらかというと増加傾向にあるが、全体としては大きな変化は見られない。
- 『(55)美しい街並みや景観の形成』については、重要度が前回と比べ0.41ポイントと大きく上昇した。

(6) 地域づくり・自治分野

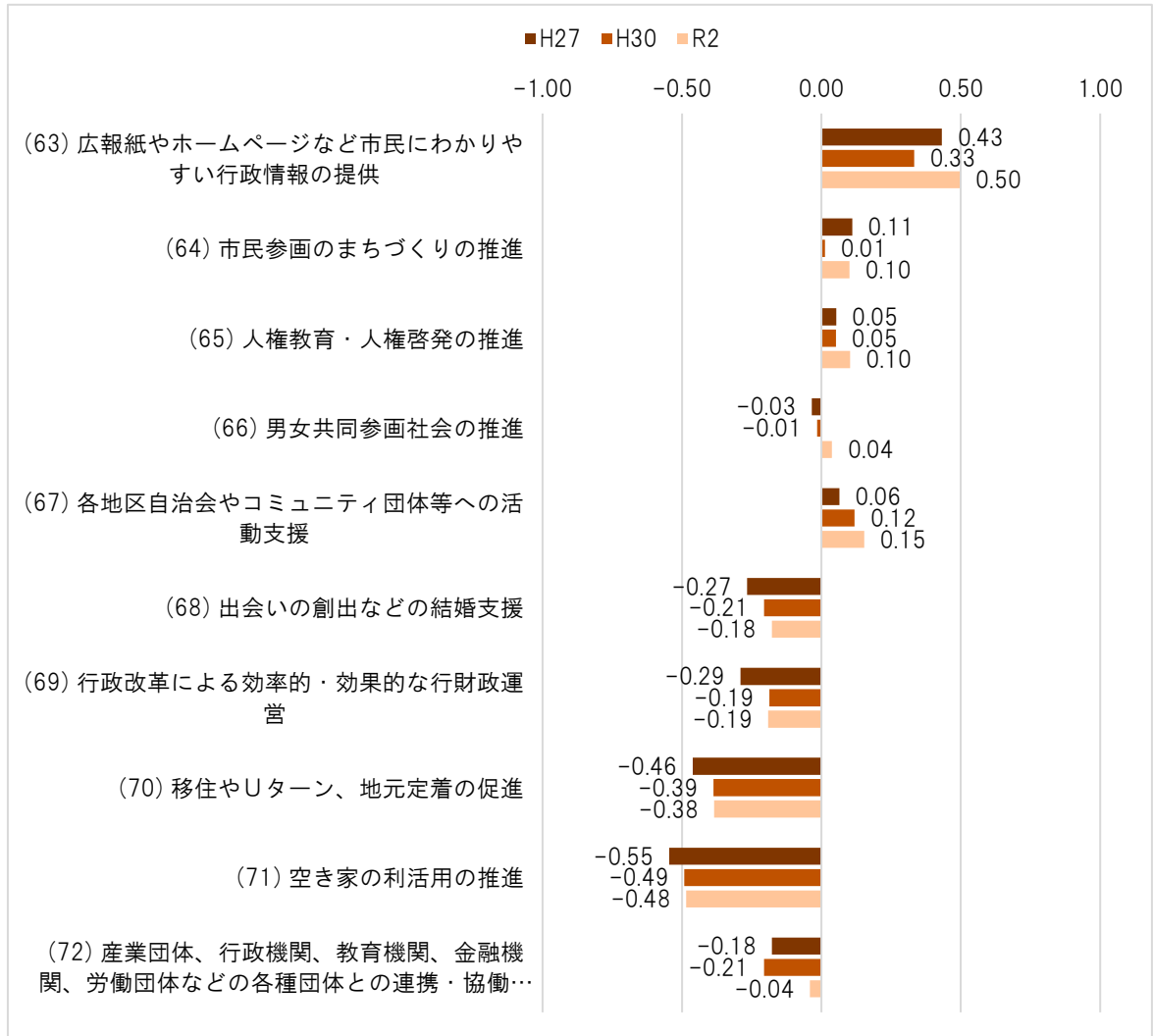
①満足度・重要度



- 満足度がマイナスとなった項目は、『(71) 空き家の利活用の推進』、『(70) 移住やUターン、地元定着の促進』、『(69) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営』、『(68) 出会いの創出などの結婚支援』だった。
- 重要度が高かったのは、『(70) 移住やUターン、地元定着の促進』、『(63) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供』だった。
- 満足度が低く重要度が高い喫緊の課題は、『(71) 空き家の利活用の推進』、『(70) 移住やUターン、地元定着の促進』だった。

地域づくり・自治分野

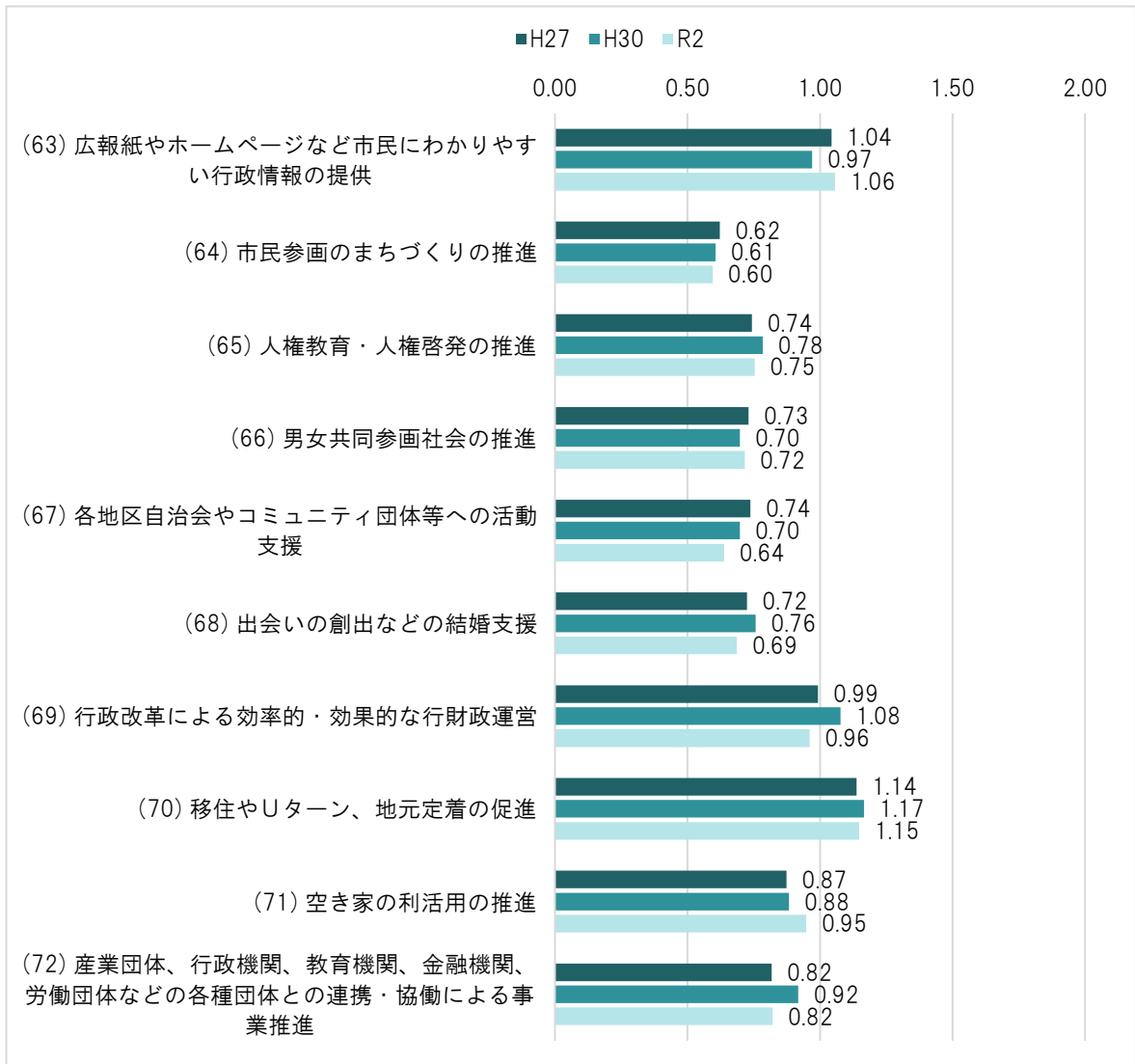
②過去の調査との比較<満足度>



- すべての項目で、満足度が上昇・改善した。

地域づくり・自治分野

③過去の調査との比較<重要度>



- 多くの項目がほとんど横ばいであり、大きな変化は見られない。

6 ニーズ度による分析

重要度から満足度を引くことによってニーズ度とした。その差が大きいものほどニーズが高いと考えられる。

順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度	前回順位
1	(10) 地域医療体制の維持・充実	1.58	-0.77	2.35	1
2	(34) 働きやすい雇用環境の整備	1.50	-0.60	2.10	5
3	(24) 鉄道やバスなどの利便性の向上	1.26	-0.70	1.95	4
4	(11) 救急医療体制の維持・充実	1.58	-0.34	1.91	2
5	(35) 地元就職促進や職業能力開発などの人材の確保と育成	1.32	-0.50	1.82	6
6	(37) 新規企業の誘致	1.17	-0.63	1.80	7
7	(2) 特別養護老人ホームなどの入所施設の充実	1.40	-0.31	1.71	3
8	(43) 農業・林業・漁業の担い手の確保や育成、販売力の強化	1.17	-0.52	1.69	10
9	(38) 既存商店街の振興	0.95	-0.69	1.63	9
10	(59) 空き家適正管理の推進	1.01	-0.54	1.54	16
11	(70) 移住やUターン、地元定着の促進	1.15	-0.38	1.53	15
12	(6) 障害のある人、高齢者などが安全・安心に生活できるバリアフリー整備	1.20	-0.30	1.50	18
13	(54) 道路除排雪などを中心とする雪に強いまちづくりの推進	1.46	0.01	1.46	8
14	(71) 空き家の利活用の推進	0.95	-0.48	1.43	22
15	(13) 育児休業など、家庭と両立できる職場環境づくりの促進	1.19	-0.23	1.42	12
16	(56) 火災、水害、地震、火山災害などへの防災・危機管理の充実	1.46	0.03	1.42	17
17	(32) 災害に強い河川整備、治山・治水対策の推進	1.50	0.08	1.42	11
18	(42) 観光客の受け入れ体制の充実	0.93	-0.46	1.39	75
19	(36) 既存企業の振興	1.07	-0.20	1.27	21
20	(23) 市道など身近な生活道路の整備	1.27	0.01	1.26	20
21	(22) 国道・県道・地域高規格道路などの幹線道路の整備	1.27	0.01	1.26	14
22	(39) 起業や事業継承への支援	0.93	-0.32	1.24	19
23	(33) きれいな海岸の保全と海辺の活用	1.16	-0.06	1.23	26
24	(48) 特産物の開発と地産地消の推進	0.98	-0.22	1.20	31
25	(58) 防犯対策の充実	1.36	0.18	1.18	25
26	(5) 障害のある人の自立・社会参加の支援と施設整備	1.08	-0.09	1.17	27
27	(69) 行政改革による効率的・効果的な行財政運営	0.96	-0.19	1.15	29
28	(17) 小学校、中学校、高等学校の教育内容の充実	1.28	0.13	1.14	34
29	(1) 在宅介護に対する訪問福祉サービスやデイサービス等の支援の充実	1.38	0.24	1.14	13
30	(44) 中山間地域の農業の振興	0.80	-0.33	1.13	30
31	(57) 消防・救急体制の充実	1.54	0.42	1.12	28
32	(9) 自殺予防対策の推進	1.01	-0.10	1.11	41
33	(28) 地区公園・緑地・子どもの遊び場の整備	0.90	-0.20	1.11	23
34	(41) 誘客宣伝活動やイベントの実施	0.76	-0.28	1.04	76
35	(52) 太陽光発電など新エネルギーの推進	0.82	-0.21	1.03	35
36	(7) 疾病予防及び各種健診事業の充実	1.22	0.20	1.02	44

順位	項目	重要度	満足度	ニーズ度	前回順位
37	(53) 大気や水質・騒音などの公害対策の推進	1.09	0.07	1.02	37
	(12) 3歳未満児保育、延長保育、学童保育など保育サービスの充実				42
38		1.15	0.14	1.01	
39	(46) 森林整備と林業の活性化	0.72	-0.28	1.00	38
40	(49) 自然環境保全に配慮したまちづくりの推進	0.99	0.00	0.99	50
41	(8) 健康づくり・介護予防の充実	1.12	0.15	0.97	53
	(3) 高齢者の社会参加など、いきがづくり対策の推進				33
42		0.97	0.00	0.97	
43	(47) 水産業の振興	0.84	-0.12	0.96	46
44	(50) 清潔な地域環境の維持	1.20	0.26	0.94	54
45	(16) 学校教育施設の整備・充実	1.16	0.22	0.94	43
46	(60) 交通安全対策の充実	1.22	0.28	0.93	40
47	(4) 地域福祉を支える市民ボランティア活動への支援	0.88	-0.03	0.91	45
48	(61) 消費者保護対策の充実	0.87	-0.01	0.88	48
49	(45) 農業用水や農道など農村地域の基盤整備	0.77	-0.10	0.87	49
50	(51) ごみの減量化とリサイクルの推進	1.28	0.41	0.87	55
51	(68) 出会いの創出などの結婚支援	0.69	-0.18	0.86	51
	(72) 産業団体、行政機関、教育機関、金融機関、労働団体などの各種団体との連携・協働による事業推進				36
52		0.82	-0.04	0.86	
	(40) ジオパークを活用した観光資源の連携と魅力づくり				52
53		0.68	-0.17	0.84	
54	(15) 保育園、幼稚園などの保育・教育内容の充実	1.10	0.26	0.84	58
55	(14) 保育園、幼稚園施設の整備・充実	1.10	0.29	0.81	57
	(25) インターネットやケーブルテレビなどの情報通信基盤の整備				63
56		0.89	0.09	0.80	
57	(55) 美しい街並みや景観の形成	0.84	0.07	0.77	67
58	(27) 公営住宅の整備や持家支援など住環境の整備	0.69	-0.07	0.76	32
59	(18) 地域学習や教養を高める生涯学習の推進	0.89	0.13	0.76	59
60	(62) 多文化共生社会の推進	0.82	0.08	0.74	70
61	(66) 男女共同参画社会の推進	0.72	0.04	0.68	61
62	(65) 人権教育・人権啓発の推進	0.75	0.10	0.65	60
63	(29) 安全で安定した水道水の供給	1.55	0.92	0.63	64
64	(20) 文化財の保存活用と継承	0.76	0.19	0.57	71
	(63) 広報紙やホームページなど市民にわかりやすい行政情報の提供				65
65		1.06	0.50	0.56	
66	(26) 土地区画整理事業などによる優良な市街地の形成	0.52	-0.02	0.54	47
67	(19) 芸術・文化活動の振興	0.66	0.13	0.53	72
68	(64) 市民参画のまちづくりの推進	0.60	0.10	0.49	66
69	(30) 下水道などの生活排水処理施設の整備	1.43	0.94	0.49	73
70	(67) 各地区自治会やコミュニティ団体等への活動支援	0.64	0.15	0.48	68
71	(31) 安全な都市ガスの供給	1.34	0.88	0.46	74
72	(21) スポーツ、レクリエーション活動の振興	0.63	0.20	0.43	56
	平均値	1.06	-0.04	1.09	

